

高等部
久米島高等学校分教室

令和 6 年度
年間指導計画

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高1年 2名		ワークシート

年間目標	(知及技) 知識及び技能		日常生活や社会生活に必要な国語の知識を身につける。(中1段階)				
	(思判表力) 思考力、判断力、表現力等		順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養う。(中1段階)				
	(学・人) 学びに向かう力、人間性		言葉がもつよさに気づくとともに国語で考えたり、伝え合ったりしようとする態度を養う(中1段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	4	(知及技) 学校・日常生活で目にする漢字を読むことができ、「自立」の上で必要と思われる漢字を書くことができる	(知・技) 学校・日常生活で目にする漢字を読み、「自立」の上で必要と思われる漢字を書いている。	・漢字学習	・ワークシートを活用して、自分の漢字の読み書きの力を知る。	社会・理科・家庭科・職業・保健体育
	5月	8	(思判表力) 物語などを読み、様々な日本語の表現を知り、親しむことができる	(思・判・表) 物語などを読み、様々な日本語の表現を知り、親しんでいる。	・物語に親しむ	・時候や時期に合った作品を読み感想を発表する。	社会・理科・音楽・美術・家庭科
	6月	8	(思判表力) 自分が体験したことや感じたことを書くことができる。	(思・判・表) 自分が体験したことや感じたことを作文している。	・お礼状を書こう	・手紙の書き方を知る。 ・現場実習でお世話になった方々にお礼の手紙を書く。	国語、理科、体育、美術、職業
	7月	4	(学・人) 学期の学習を振り返り、2学期への課題を見出すことができる。	(主学) 学期の学習を振り返り、2学期への課題を見出している。	・学期のまとめ	・夏テスト等で学習の定着を確認し、次の目標を立てる。	国語、数学
2 学期	9月	8	(知及技) 日常生活で使用する「しまくとうば」に親しむことができる。	(知・技) 日常生活で聞いたことのある「しまくとうば」を通して、「しまくとうば」の現状を理解している。	・しまくとうば	・しまくとうばで書かれた紙芝居を読む。 ・「しまくとうば」とは何かを知る。	社会
	10月	8	(思判表力) 古文などを読んだり、かるた取りをしたりして様々な日本語の表現を知り、親しむことができる。	(思・判・表) 古文などを読んだり、かるた取りをしたりして様々な日本語の表現を知り、親しんでいる。	・古文に親しむ	・古文を読んだり、暗唱したりする。	社会・理科・音楽・美術・家庭科
	11月	8	(思判表力) 自分が体験したことや感じたことを作文できる。	(思・判・表) 自分が体験したことや感じたことを作文している	・お礼の手紙を書こう②	・現場実習でお世話になった事業所の方にお礼の手紙を書く。	社会・理科・家庭科・体育・職業
	12月	6	(知及技) 年賀状を書くことを通して、季節の節目に交わす挨拶状で用いる語句があることを知り、年賀状に書くことをできる。	(知・技) 年賀状に必要な言葉を知り、年賀状を書く。	・年賀状を書こう	・年賀状作成	国語、社会
3 学期	1月	4	(学・人) 毛筆で書くことを通して、書きたいことを書こうとする。	(主・学) 書き初めを書こうとする。	・書き初めを書こう	・繰り返し読み書きの反復練習を行う。	社会・理科・家庭科・職業
	2月	8	(思判表力) 詩などを読んだり、作ったりして様々な日本語の表現を知り、親しむことができる	(思・判・表) 詩などを読んだり、作ったりして様々な日本語の表現を知り、親しんでいる	・文章に親しむ	・時候や時期に合った作品を読んだり、自分で作ったりする。	社会・理科・音楽・美術・家庭科
	3月	4	(思判表力) 自分が体験したことや感じたことを作文できる	(思・判・表) 自分が体験したことや感じたことを作文している	・年間を振り返ろう	・行事等に合わせて作文をし、発表をする。	社会・理科・家庭科・体育・職業
留意点 引継等							
評価方法			・三観点の確認 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高1年 2名		ワークシート

年間目標			(知及技) 知識及び技能	身近な地域や県内の主な様子や社会的事象を手がかりに、先人働きや出来事、文化遺産などについて知る。 (中Ⅰ段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	社会的事象について、自分の生活と結びつけて考え、社会との関わりの中で選択・判断したことを適切に表現する。(中Ⅰ段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	社会に主体的に関わろうとする態度を養い、学習したことを学校生活や社会生活に生かそうとする態度を養う。(中Ⅰ段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
・ 学 期	4月	4	(知及技) 自分たちの地域の地理や歴史、特色を学習する。	(知・技) 久米島の地理歴史や特色を学び、関心を持っている。	・久米島について学ぶ	・自分たちが暮らしている久米島について理解を深め、どのような特色があるのかを学ぶ。	国語、数学、理科、体育、音楽、美術、英語、職業、家庭
	5月	8	(知及技) 歴史上の史跡を手掛かりに、沖縄諸島における先人の業績、優れた文化遺産や各島の特徴を学習する。	(知・技) 歴史上の史跡を手掛かりに、関連する先人の業績、優れた文化遺産や特色を学習しようとしている。	・沖縄諸島について学ぶ	・沖縄諸島の史跡について、地域にどのような役割と功績があったのか調べる。	国語、理科、体育、美術、職業
	6月	8	(学・人) 慰霊の日を前に平和について考える。	(主学) 慰霊の日を前に平和について考えている。	・平和について	・沖縄戦、6月23日について、理解を深める。	国語、理科、体育、美術、職業
	7月	4	(思判表力) 学習の振り返り	(思・判・表) 学習の振り返りをしている	・学期のまとめ	・プリントなどで学習の振り返りをする。	国語、数学、理科、体育、音楽、美術、英語、職業、家庭
0	9月	8	(知及技) 勤労と納税、お金の流れについて知る。	(知・技) 勤労と納税、お金の流れについて知ろうとしている。	・生産と消費	・税金の使い道、税金の種類などについて知る。	国語、数学、理科、職業、家庭
	10月	8	(思判表力) 給料の使い道、お金の管理について知る。	(思・判・表) 給料の使い道、お金の管理について知ろうとしている。	・経済生活について	・お金の管理方法として、ＡＴＭの利用方法を知る。	国語、数学、理科、職業、家庭
	11月	8	(思判表力) 生活に関係の深い公共施設や公共物などの働きを理解する。	(思・判・表) 生活に関係の深い公共施設や公共物などの働きを理解している。	・公共施設の利用	・様々な公共施設や公共物を知り、適切に利用する。バス・タクシー・モノレールの利用方法を知る。	国語、数学、理科、職業、家庭 ※行事等で沖縄本島に行く前に、公共施設や公共交通機関の利用方法の学習を行う。
	12月	6	(知及技) 療育手帳とは何か、利用の仕方について理解を深める。	(知・技) 療育手帳とは何か、利用の仕方について理解を深めている。	・療育手帳	・療育手帳とは何か、また利用することで得られるメリットについて知る。	国語、数学、理科、職業、家庭
	1月	4	(学・人) 社会にはいろいろな決まりがあることを知り、それらを適切に守る。	(主学) 社会にはいろいろな決まりがあることを知り、それらを適切に守ろうとしている。	・権利・義務 きまりと法律	・身近な権利や決まりについて学び、社会生活に必要な情報を知る。	国語、数学、理科、体育、音楽、美術、英語、職業、家庭

3 学期	2月	8	(学・人) 個人と社会の関 係が分かり、社会の一員と しての自覚をもつ。働く人 を守る仕組みについて知 る。	(主学) 個人と社会の関 係が分かり、社会の一員とし ての自覚をもっている。働 く人を守る仕組みについて 知ろうとしている。	・選挙について	・社会の慣習や生活に 関わる法や制度を知 り、必要に応じて生活 に生かす。	国語、数学、理科、 体育、音楽、美術、 英語、職業、家庭
	3月	4	(思判表力) 学習の振り返 り	(思・判・表) 学習の振り返 りをしている	・まとめ	・年間の学習を振り返 る。	国語、数学、理科、 体育、音楽、美術、 英語、職業、家庭
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・提出物の状況 ・単元テスト ・小テスト					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高1年 2名		熱中算数教室 (アプリ)

年間目標			(知及技) 知識及び技能	数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に着目して処理する技能を身につけるようにする。(算数・小3段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力を養う。(算数・小3段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結びつけてよりよく問題を解決しようとする態度を養う。(算数・小3段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	4	(知及技) 基礎的四則演算ができる	(知・技) 基礎的四則演算ができている	・四則演算	・基礎的な四則演算(1桁どうしの四則)	理科、社会、職業
	5月	8	(思判表力) 小数・分数の意味がわかる	(思・判・表) 小数・分数の意味がわかっている	・小数の大きさ	・具体物を活用し、小数・分数の大きさを視覚的に表現する	国語、社会、家庭科
	6月	8	(知及技) 小数同士の加減法ができる	(知・技) 小数同士の加減法ができている	・小数の加減法	・プリント学習で反復して学ぶ	国語、社会、家庭科
	7月	4	(思判表力) 学習の振り返りができる	(思・判・表) 学習の振り返りができている	・学期のまとめ	・プリントなどで学習の振り返りをする。	国語、数学、理科、体育、音楽、美術、英語、職業、家庭
2 学期	9月	8	(知及技) メジャーやものさしを利用して長さを測ることができる	(知・技) メジャーやものさしを利用して長さを測ることができる	・長さの測定と単位変換	・身のまわりの物の長さを、メジャーやものさしを利用して測定する。	社会、理科、家庭科、職業
	10月	8	(知及技) 長さの加減法ができる	(知・技) 長さの加減法ができている	・長さの加減法	・プリント学習で加法、減法を反復して学ぶ。	社会、理科、家庭科、職業
	11月	8	(思判表力) 時計を読むことができる	(思・判・表) 時計を読むことができる	・時間と時刻	・時計の針を活用しながら、時間の設定を行う。	国語、社会、理科、家庭科
	12月	6	(思判表力) 学習の振り返りができる	(思・判・表) 学習の振り返りができている	・2学期のまとめ	・プリントなどで学習の振り返りをする。	国語、数学、理科、体育、音楽、美術、英語、職業、家庭
3 学期	1月	4	(知及技) お金の数え上げができる	(知・技) お金の数え上げができている	・金銭処理	・具体物を使ったお金の数え上げをする。	国語、社会、理科、家庭科、職業
	2月	8	(知及技) 電卓を利用した四則演算ができる	(知・技) 電卓を利用した四則演算ができている	・電卓	・電卓やipadの電卓機能を活用する。	社会、家庭科、職業

	3 月	4	(思判表力) 各図形の名称や 特徴がわかる	(思・判・表) 各図形の名称 や特徴がわかっている	・ 図形	・ 身のまわりの図形探し や、教育番組の視聴	国語、社会、理科、 美術、家庭科、職業
留意点 引継等							
評価方法			・ 三観点の確認 ・ 授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・ 課題の処理意欲、態度 ・ 理解度、習得度 ・ 提出物の状況 ・ 単元テスト ・ 小テスト				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高1年 2名		インターネットの教材 (ワークシート)

年間目標		(知及技) 知識及び技能	活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、自然の特徴やよさ、それらの関わりに気付くとともに、生活において必要な習慣や技能を身に付けるようにする。(生活・小3段階)				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。(生活・小3段階)				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	自分のことに取り組んだり、身近な人々、自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。(生活・小3段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	4	(知及技) 自分の体のつくりや働きを知る。	(知・技) 自分の体のつくりや働きを知ることができる。	・健康な暮らし 人体とけが・病気の予防	・人の体の主なつくりや働きを知る。	国語、数学、社会、体育、音楽、美術、英語、職業、家庭
	5月	8	(知及技) 自分の体のつくりや働きを知り、けがや病気の予防につなげる。	(知・技) 自分の体のつくりや働きを知り、けがや病気の予防につなげようとしている。	人体とけが・病気の予防	・病気とその予防方法を知る。 ・けがとその処置について知る。	国語、数学、社会、体育、音楽、美術、英語、職業、家庭
	6月	8	(知及技) 健康に活動するために必要な栄養素を知る。	(知・技) 健康に活動するために必要な栄養素を知ることができる。	食事と健康	・心臓のはたらきを知る。 ・体循環と肺循環の仕組みを知る。	国語、数学、社会、体育、音楽、美術、英語、職業、家庭
	7月	4	(知及技) 健康に活動するために必要な栄養素を知ること、病気の予防につなげる。	(知・技) 健康に活動するために必要な栄養素を知ること、病気の予防につなげようとしている。	食事と健康	・血液の成分とはたらきを知る。	国語、数学、社会、体育、音楽、美術、英語、職業、家庭
2 学期	9月	8	(知及技) 植物、動物、微生物について知る。	(知・技) 植物、動物、微生物について知っている。	・自然とくらし 生物	・植物について知る。 ・動物について知る。	国語、数学、社会、英語、職業、家庭
	10月	8	(知及技) 植物、動物、微生物について知る。	(知・技) 植物、動物、微生物について知っている。	生物	・微生物について知る。	国語、数学、社会、英語、職業、家庭
	11月	8	(思判表力) 地球の様子や天体のことを知る。	(思・判・表) 地球の様子や天体のことを知ることができる。	地球と自然	・地球と天体について知る。 ・地球の環境について知る。	国語、数学、社会、英語、職業、家庭

	12月	6	(思判表力)地球の様子や天体のことを知り、地球の自然環境について考える。	(思・判・表)地球の様子や天体のことを知り、地球の自然環境について考えようとしている。	地球と自然	・気象について知る。 ・自然災害について知る。	国語、数学、社会、英語、職業、家庭
3 学 期	1月	4	(知及技)私たちの身の回りにあるさまざまな物質の特徴を知る。	(知・技)私たちの身の回りにあるさまざまな物質の特徴を知ろうとしている。	・便利なくらし物質	・プラスチック、金属、ガラスについて知る。 ・その他身の回りの物質を知る。	国語、数学、社会、英語、職業、家庭
	2月	8	(知及技)私たちの生活に欠かせないエネルギーの特徴や機械の安全性について知る。	(知・技)私たちの生活に欠かせないエネルギーの特徴や機械の安全性について知ろうとしている。	・エネルギー・機械	・電気、ガス、石油について知る。 ・機械について知る。	国語、数学、理科、体育、音楽、美術、英語、職業、家庭
	3月	4	(知及技)身の回りにある薬品や医薬品について知る。	(知・技)身の回りにある薬品や医薬品について知ろうとしている。	・薬品・医療品	・生活薬品について知る。 ・身の回りの医薬品について知る。	国語、数学、社会、英語、職業、家庭
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・提出物の状況 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・単元テスト ・小テスト ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高1年 1名		高校生の美術

年間目標		(知及技) 知識及び技能	造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方などを身につけるとともに、多様な表し方工夫する技能を身につけようとする。(中2段階)				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	造形的なよさや面白さ、美しさ表したいことや表し方などについて考え、経験したことや想像したこと、材料などを基に発想し構想することができる。(中2段階)				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	4	(知及技) 年間の授業内容を説明し、授業の見通しを持つ。	(知・技) 年間の授業内容を説明し、授業の見通しを持っている。	・オリエンテーション 【全般】	・年間の授業内容を説明し授業の見通しを持たせる。	国語
	5月	8	(知及技) 鉛筆、絵の具、筆、カッターの基本的な使い方と安全について理解する。	(知・技) 鉛筆、絵の具、筆、カッターの基本的な使い方と安全について理解している。	・基本練習 【全般】	・鉛筆、絵の具、筆、カッターの基本的な使い方と安全について理解させる。	国語
	6月	8	(思判表力) 伝えたい内容を、イラストや写真・文字などを組み合わせてポスターを表現する。	(思・判・表) 伝えたい内容を、イラストや写真・文字などを組み合わせてポスターを表現しようとしている。	・希望をかたちに 【表現・デザイン】	・イラストのタッチやレタリングの組み合わせを思考させ表現につなげる。	国語、数学
	7月	4	(思判表力) 伝えたい内容を、イラストや写真・文字などを組み合わせてポスターを表現する。	(思・判・表) 伝えたい内容を、イラストや写真・文字などを組み合わせてポスターを表現しようとしている。	・希望をかたちに 【鑑賞・デザイン】	・イラストのタッチやレタリングの組み合わせを思考させ表現につなげる。	国語、数学
2 学期	9月	8	(知及技) 個人で決めたテーマをもとにデジタルカメラで撮影しプリントする。	(知・技) 個人で決めたテーマをもとにデジタルカメラで撮影しプリントできる。	・日常を写す 【表現・映像メディア表現】	・カメラの操作方法を体験させた後に、撮影に取り組ませる。	国語、数学、情報
	10月	8	(表判表力) 撮影した写真を鑑賞し、意見や感想をまとめる。	(思・判・表) 撮影した写真を鑑賞し、意見や感想をまとめている。	・日常を写す 【鑑賞・映像メディア表現】	・テーマに合わせた写真を選択しコンセプトを記入させる。	国語、数学、情報
	11月	8	(知及技) デカルコマニーなどのモダンテクニックの技法を習得し絵画の制作にいかす。	(知・技) デカルコマニーなどのモダンテクニックの技法を習得し絵画の制作にいかそうとしている。	・想像する力 【表現・絵画】	・技法や素材の効果を確認しながら作品制作に移らせる。	国語、数学
	12月	6	(思判表力) 感じたことや考えた事を文字でまとめ発表する。	(思・判・表) 感じたことや考えた事を文字でまとめ発表している。	・想像する力 【表現・絵画】	・自分の作品について考えをまとめ他の生徒の作品について感じた事や考えた事を文字でまとめる。	国語、数学

3 学 期	1月	4	(知及技) 樹脂粘土特性をいかして立体を制作する。	(知・技) 樹脂粘土特性をいかして立体を制作している。	・食べ物をつくる 【表現・彫刻】	・絵の具の練り込みや成形の工夫をグループで工夫させる。	国語、数学、理科
	2月	8	(思判表力) 用途の視点から意見や感想をまとめる。	(思・判・表) 用途の視点から意見や感想をまとめようとしている。	・食べ物をつくる 【鑑賞・彫刻】	・手に取って様々な方向から鑑賞する。	国語、数学、理科
	3月	4	(学・人) 学習のまとめを行い、思い出に残っていることや感想などを発表する。	(主学) 学習のまとめを行い、思い出に残っていることや感想などを発表している。	・学年のまとめ	・学習のまとめを行い、思い出に残っていることや感想などを発表させる。	国語、数学
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高1年 1名		音楽Ⅰ (教育出版)

			(知及技) 知識及び技能	曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。(小3段階)			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	音楽表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。(小3段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味を持つとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。(小3段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	4	(知及技) 校歌を覚える。	(知・技) 校歌を覚えてい る。	・スタート 高校音 楽！	・発声練習 ・メロディーの学習 ・歌詞の学習（プリン ト）	国語
	5月	8	(知及技) 豊かな歌声をつ くるための発声法や言葉 の特徴を生かした表現力を身 に付ける。	(知・技) 豊かな歌声をつ くるための発声法や言葉 の特徴を生かした表現力を身 に付けようとしている。	・声の世界	・発声練習 ・歌唱練習（夢の世界 を）	国語、数学
	6月	8	(知及技) 三線の基本的な 奏法を身につけ、郷土の音 楽への関心を高める。	(知・技) 三線の基本的な 奏法を身につけ、郷土の音 楽への関心を高めようとし ている。	・郷土の音楽	・構え方について ・エエ四について ・基礎練習（メソ ード） ・安波節（古典曲）の 学習 ・三線文化について	国語、社会
	7月	4	(思判表力) オーケストラ の作品やミュージカルを鑑 賞し、場面に応じた音楽の 効果や構造を知る。	(思・判・表) オーケスト ラの作品やミュージカルを 鑑賞し、場面に応じた音楽 の効果や構造を知ってい る。	・舞台芸術の世界 鑑賞「レミゼラブル」	・鑑賞「レミゼラブル」 ワークシート記入（感 じたこと、考えたこ と）	国語、社会
2 学期	9月	8	(知及技) 民族音楽の種類 や歴史・文化的な背景を知 る。	(知・技) 民族音楽の種類 や歴史・文化的な背景を 知っている。	・民族音楽 「O sole mio」（イタ リア歌曲）	・イタリア語の発音 ・リズムの特徴 ・ベルカント唱法につ いて	国語、数学、社会
	10月	8	(思判表力) 全身で協力し て作り上げる合唱の充実感 を味わう。	(思・判・表) 全身で協力 して作り上げる合唱の充実 感を味わおうとしている。	・混声合唱の響きを求 めて 合唱曲「ふるさと」等	・各声部の特徴につい て 旋律の重なり方につ いて	国語
	11月	8	(知及技) 西洋、日本の音 楽の流れや音楽家の時代背 景を調べ、レポートにまと める。	(知・技) 西洋、日本の音 楽の流れや音楽家の時代背 景を調べ、レポートにまと めている。	・音楽史	・日本音楽史（プリン ト・鑑賞） ・西洋音楽史（プリン ト・鑑賞）	国語、社会
	12月	6	(知及技) 年末に演奏され る楽曲にふれ、音楽文化を 知る。	(知・技) 年末に演奏され る楽曲にふれ、音楽文化を 知ろうとしている。	・季節の音楽 ミュージックベル	・ミュージックベルの 奏法について ・演奏（実技）	社会

3 学 期	1月	4	(思判表力)リズムや楽器の組み合わせを工夫し、表現を工夫する。	(思・判・表)リズムや楽器の組み合わせを工夫し、表現を工夫しようとしている。	・アンサンブルの楽しみ	・担当楽器の練習	社会
	2月	8	(思判表力)リズムや楽器の組み合わせを工夫し、表現を工夫する。	(思・判・表)リズムや楽器の組み合わせを工夫し、表現を工夫しようとしている。	・アンサンブルの楽しみ	・他のパートとの関わり ・共通のテンポ	国語、数学
	3月	4	(学・人)1年間の振り返りと反省を行い、今後の生活にいかす。	(主学)1年間の振り返りと反省を行い、今後の生活にいかそうとしている。	・学年のまとめ	・学習のまとめ ・思い出、感想	国語
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・提出物の状況 ・授業(実技、実習を含む)に対する取組姿勢 ・実技テスト ・単元テスト ・小テスト ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
体育 3／105 保健 1／35	高1年 2名		

年間目標			(知及技) 知識及び技能	各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解、基本的な技能を身につけるようにする。（中２段階）			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	各種の運動や健康な生活における自分やグループの課題を見つけ、その解決に向けて友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。（中２段階）			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	各種の運動に積極的に取り組み、きまりやスポーツのルールなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動する態度を養う。（中２段階）			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	8	(知及技) 仲間と協力し、回数を数えたり記録を測定することができる。 (学・人) 自分の記録を知り、挑戦することができる。	(知・技) 仲間と協力し、回数を数えたり記録を測定している。 (主学) 自分の記録を知り、挑戦しようとしている。	・体づくり運動	・ペアになり、交互に体力テストを行う。 ・体力テストの結果を記入する	数学、国語、社会、体育
	5月	16	(思判表力) オリンピック、パラリンピックなどの世界大会について理解する。	(思・判・表) オリンピック、パラリンピックなどの世界大会について理解している。	・体育理論	・映像を見たり、講話を通して理解を深める	数学、国語、社会、体育
	6月	16	(知及技) ルールを理解し、仲間と協力して進んで運動に取り組む。 (知及技) 基本的な技術を学び、簡易化したルールの中で発揮することができる。	(知・技) ルールを理解し、仲間と協力して進んで運動に取り組んでいる。 (知・技) 基本的な技術を学び、簡易化したルールの中で発揮しようとしている。	・球技（選択） ハンドボール 卓球	・基本的なルールの説明を行い、部分練習を行う ・グループ学習を通して、チームや個人の課題を見つける	数学、国語、社会、体育
	7月	8	(学・人) 仲間と協力して、ボールを繋いだり得点を決めたりする。	(主学) 仲間と協力して、ボールを繋いだり得点を決めたりしようとしている。	・球技（選択） ソフトボール バレーボール		
2 学期	9月	16	(知及技) 武道の「所作」や「礼」などについて理解することができる。 (思判表力) 各競技、仲間と協力して曲に合わせ体を動かすことができる。	(知・技) 武道の「所作」や「礼」などについて理解しようとしている (思・判・表) 各競技、仲間と協力して曲に合わせ体を動かしている。	・武道・ダンス	・活動内容や「所作」や「礼」についての映像を見る ・部分練習を繰り返し行い、動きを覚える	数学、国語、体育
	10月	16	(知及技) 走り高跳びや、走り幅跳びの基本的なルールや跳び方を理解することができる。 (思判表力) 習った技や跳び方に挑戦することができる。	(知・技) 走り高跳びや、走り幅跳びの基本的なルールや跳び方を理解している。 (思・判・表) 習った技や跳び方に挑戦しようとしている。	・陸上競技	・手本を見ながら、実際に跳んでみる ・距離や高さを上げて挑戦する	数学、国語、体育
	11月	16	(知及技) 自分の体力を知ることができる。 (思判表力) 体の発育について理解し、基本的な技能を身につけることができる。	(知・技) 自分の体力を把握している。 (思判表力) 自分の体について把握している。	・体づくり運動 ・心と体の健康	・第2回体力テストを行い、現状の体力を把握する ・生活の様子をチェックし、今後に生かす。	数学、国語、体育
	12月	12	(学・人) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができる。	(主学) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わおうとしている。	・球技（選択） ハンドボール 卓球 ソフトボール バレーボール	グループ学習を通して、チームにあった作戦を立てる	数学、国語、体育
3 学期	1月	8	(思・判・力) 自分の深めたい競技を選択することができる。 (学・人) 技術を高め、仲間同士で競技を楽しむことができる。	(思・判・表) 自分の深めたい競技を選択している。 (主学) 技術を高め、仲間同士で競技を楽しもうとしている。	(選択) 器械運動／陸上競技	・1年間でやった球技の中から選択し仲間と試合やラリーを行う ・仲間同士で話し合いをする時間を作り、競技に入る	数学、体育
	2月	16			(選択) 器械運動／陸上競技		

	3月	8		(選択) 器械運動／陸上競技		
留意点 引継等						
評価方法	・三観点の確認 ・提出物の状況 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・実技テスト ・単元テスト ・小テスト ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
4／140	高1年 2名		農業と環境 (実教出版)

年間目標			(知及技) 知識及び技能	草花及び野菜栽培、飼育などの体験的、探求的な学習を通して、農業に関する基礎的な知識と技能を習得する。(中Ⅰ段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	家畜の飼育や草花の栽培の課題を見つけ、課題解決に向けて思考し表現することができる。(中Ⅰ段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	よりよい将来の職業生活の実践や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする態度を養う。(中Ⅰ段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	8	(知及技) 農業の意義・役割を理解させ、農業学習に取り組むための心構えを身につけることができる	(知・技) 農業の意義・役割を理解し、農業学習に取り組むための心構えを身につけようとしている	・農業と環境を学ぶ	・農業の特質及び多様性 農業学習に取り組む心構え	国語、社会、理科、 職業・家庭
	5月	16	(知及技) 家畜に興味関心を持たせ、家畜の特性や管理について身につけることができる	(知・技) 家畜に興味関心を持ち、家畜の特性や管理について身につけようとしている	・飼育の基礎	・家畜の特性と飼育 ・家畜の飼料と栄養	国語、社会、理科、 職業・家庭
	6月	16	(知及技) 管理に関する基礎的な知識を身につけさせるとともに、技術の仕組みを理解することができる	(知・技) 管理に関する基礎的な知識を身につけ、技術の仕組みを理解しようとしている	・栽培の基礎を学ぶ	・栽培環境の管理	国語、社会、理科、 職業・家庭
	7月	8	(知及技) 水や肥料の役割について理解することができる	(知・技) 水や肥料の役割について理解している	・土・肥料・水の役割	・水と肥料の役割 ・飼育環境の管理と整備	国語、社会、理科、 職業・家庭
Ⅱ学期	9月	16	(知及技) マリーゴールドの特徴を理解させ、種まき、鉢上げ等を体験させ、実習をとおして栽培管理ができる	(知・技) マリーゴールドの特徴を理解し、種まき、鉢上げ等を体験し、実習をとおして栽培管理ができていく	・栽培プロジェクトの実際	・栽培環境とその要素	国語、社会、理科、 職業・家庭
	10月	16	(知及技) マリーゴールドの栽培管理技術を身につけることができる	(知・技) マリーゴールドの栽培管理技術を身につけようとしている	・種を植える	・ポットに種を植える	理科、職業・家庭
	11月	16	(思判表力) マリーゴールドを利用し、花壇やプランター栽培を実践することができる	(思・判・表) マリーゴールドを利用し、花壇やプランター栽培を実践しようとしている	・装飾の実践	・草花の栽培管理	理科、職業・家庭
	12月	12			・装飾の実践	・草花の栽培管理	
Ⅲ学期	1月	8	(学・人) 仲間と協力して、地域や学校の装飾を完成させることができる。 (学・人) 農業のもつ社会的な機能を理解することができる。	(主学) 仲間と協力して、地域や学校の装飾を完成させている。 (主学) 農業のもつ社会的な機能を理解しようとしている。	・農業の役割とこれからの課題	・楽天歓迎、卒業式の花文字制作	国語、社会、理科、 美術、職業・家庭
	2月	16			・農業の役割とこれからの課題		
	3月	8			・農業の役割とこれからの課題		
留意点 引継等							
評価方法			・三観点の確認 ・提出物の状況	・授業(実技、実習を含む)に対する取組姿勢 ・実技テスト ・単元テスト ・小テスト	・課題の処理意欲、態度	・理解度、習得度	

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高1年 2名		

			(知及技) 知識及び技能	農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を身に付けるようにする。 (中Ⅰ段階)			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	経営と管理についての理解を深め、企画力や管理能力などを身に付け、農業に関する課題を解決する力を養う。(中Ⅰ段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	職業人として必要な豊かな人間性を育み、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。(中Ⅰ段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	4	(思判表力) 農業の各分野の総合的な実習を通して、経営や管理における技術の役割と各技術の相互関係を体験的に理解させ、経営や管理の改善を図る実践的な能力と態度を育てること。 (学・人) 自分の分担に責任を持ち、協力学級の生徒と協力して活動することができる。	(思・判・表) 農業の各分野の総合的な実習を通して、経営や管理における技術の役割と各技術の相互関係を体験的に理解し、経営や管理の改善を図る実践的な能力と態度を獲得しようとしている。 (主学) 自分の分担に責任を持ち、協力学級の生徒と協力して活動している。	(1) 農業の各分野に関する総合的な実習 ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ、経営管理総合実習イ (2) 農業の産業現場実等における総合的な実習 ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ、経営管理総合実習イ	①科目「農業と環境」と「植物バイオ」の各分野に関連付けて学習をする。 ・実験で実際の、体験的な学習を通しての知識と技術の習得をする。	国語・数学・社会・理科・体育・音楽・体育・美術・英語・職業・家庭 (2) については、地域の実態や学科の特色に応じて、扱わないことができること。
	5月	8	(知及技) 農業体験を通して、基本的な知識と技術を理解する。 (思判表力) 産業現場等における総合的な実習を通して、技術の実践的な役割と経営や管理の実際を体験的に理解させ、経営や管理の改善を図る実践的な能力と態度を育てること。	(知・技) 農業体験を通して、基本的な知識と技術を理解している。 (思・判・表) 産業現場等における総合的な実習を通して、技術の実践的な役割と経営や管理の実際を体験的に理解し、経営や管理の改善を図る実践的な能力と態度を獲得しようとしている。	(1) 農業の各分野に関する総合的な実習 ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ、経営管理総合実習イ (2) 農業の産業現場実等における総合的な実習 ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ、経営管理総合実習イ	②農場管理や学校緑化の実習を行う。 ・作物栽培、家畜飼育などに関する技術を習得させる。	
	6月	8	(学・人) ①自分の分担に責任を持ち、協力学級の生徒と協力して活動することができる。 (知及技) ②農業体験を通して、基本的な知識と技術を理解する。	(主学) ①自分の分担に責任を持ち、協力学級の生徒と協力して活動している。 (知・技) ②農業体験を通して、基本的な知識と技術を理解している。	(1) 農業の各分野に関する総合的な実習 ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ、経営管理総合実習イ (2) 農業の産業現場実等における総合的な実習 ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ、経営管理総合実習イ	③学校行事「即売会」の企画・運営。 生産から流通までの農業経営や企画力、コミュニケーション能力を育てる。	
	7月	4			(1) 農業の各分野に関する総合的な実習 ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ、経営管理総合実習イ (2) 農業の産業現場実等における総合的な実習 ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ、経営管理総合実習イ	①科目「農業と環境」と「植物バイオ」の各分野に関連付けて学習をする。 ・実習で実際の、体験的な学習を通しての知識と技術の習得をする。	
Ⅱ 学期	9月	8			(1) 農業の各分野に関する総合的な実習 ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ、経営管理総合実習イ (2) 農業の産業現場実等における総合的な実習 ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ、経営管理総合実習イ	③地域との連携・交流を図る。 ・農業関連業の視察研修、保育園との交流会、各小中学校への草花配布をする。	
	10月	8			(1) 農業の各分野に関する総合的な実習 ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ、経営管理総合実習イ (2) 農業の産業現場実等における総合的な実習 ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ、経営管理総合実習イ	④生産から流通までの農業経営や企画力、コミュニケーション能力を育てる。	
	11月	8			(1) 農業の各分野に関する総合的な実習 ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ、経営管理総合実習イ (2) 農業の産業現場実等における総合的な実習 ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ、経営管理総合実習イ		

	12月	6			(1) 農業の各分野に関する総合的な実習 ア、専門技術総合実習 イ、経営管理総合実習 (2) 農業の産業現場実等における総合的な実習 ア、専門技術総合実習 イ、経営管理総合実習	
3 学 期	1月	4			(1) 農業の各分野に関する総合的な実習 ア、専門技術総合実習 イ、経営管理総合実習 (2) 農業の産業現場実等における総合的な実習 ア、専門技術総合実習 イ、経営管理総合実習	
	2月	8			(1) 農業の各分野に関する総合的な実習 ア、専門技術総合実習 イ、経営管理総合実習 (2) 農業の産業現場実等における総合的な実習 ア、専門技術総合実習 イ、経営管理総合実習	
	3月	4			(1) 農業の各分野に関する総合的な実習 ア、専門技術総合実習 イ、経営管理総合実習 (2) 農業の産業現場実等における総合的な実習 ア、専門技術総合実習 イ、経営管理総合実習	
	留意点 引継等					
評価方法	・三観点の確認 ・提出物の状況 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・実技テスト ・単元テスト ・小テスト ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高1年 2名		

年間目標		(知及技) 知識及び技能	職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に関わる技能を身に付ける。(中1段階)				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。(中1段階)				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を育てる。(中1段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
I 学期	4月	4	(知及技) 作業内容を知る。 (思判表力) 目標をもって意欲的に取り組む。 (思判表力) 挨拶や丁寧な言葉づかいをする。 (思判表力) 忘れ物をしない。服装のチェックをする。	(知・技) 作業内容を把握している。 (思・判・表) 目標をもって意欲的に取り組もうとしている。 (思・判・表) 挨拶や丁寧な言葉づかいをしている。 (思・判・表) 忘れ物をしないようにしている。	・オリエンテーション ・マナー・身だしなみ	・作業の意義の確認。 目標設定。 ・正しい姿勢や挨拶、言葉づかいの確認と練習。 ・身だしなみや心構えの確認と実践。	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	5月	8	(知及技) 基本的な資機材の使用方法を身につける。 (学・人) 実習の意義を理解し、目標を持って取り組む。実習評価から成果と課題を知り、今後の活動に生かす。	(知・技) 基本的な資機材の使用方法が身についている。 (主学) 実習の意義を理解し、目標を持って取り組んでいる。実習評価から成果と課題を知り、今後の活動に生かそうとしている。	・機材の使い方 ・現場実習	・実習の意義、課題の確認を踏まえた目標設定。 ・課題解決の方法を検討し、今後の取り組みを確認。 ・成果と課題の確認。	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	6月	8	(思判表力) 整理整頓で効率よく片付ける方法を知る。 (学・人) 島内の公共施設を清掃することにより、働くことへの意欲を高める。 (学・人) 地域への貢献と分教室の啓発。	(思・判・表) 整理整頓で効率よく片付ける方法を理解している。 (主学) 島内の公共施設を清掃することにより、働くことへの意欲を高めようとしている。 (主学) 地域へ貢献しようとしている。	・手入れ・保管方法 ・地域清掃活動	安全な置き方や汚れの取り方の確認と実践。 島内公共施設の清掃活動。(具志川改善センター、公立久米島病院、学校近くの海岸等)	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	7月	4	(思判表力) I学期の成果と課題を整理する。	(思・判・表) I学期の成果と課題が整理できている。	・I学期のまとめ	・成果と課題の確認。	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	9月	8	(思判表力) 2学期の活動予定を知る。目標をもって意欲的に取り組む。 (学・人) 挨拶や丁寧な言葉づかいをする。忘れ物をしない。服装のチェックをする。	(思・判・表) 2学期の活動予定を理解している。目標をもって意欲的に取り組んでいる。 (思・判・表) 挨拶や丁寧な言葉づかいができていく。忘れ物をしないようにしている。	・オリエンテーション ・マナー・身だしなみ	活動内容の確認。目標設定。 正しい姿勢や挨拶、言葉づかいの確認と練習。身だしなみや心構えの確認と実践。	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭

2 学 期	10月	8	(知及技) 基本的な技術を身につけ、手入れ・管理方法を知る。 (学・人) 島内の公共施設を清掃することにより、働くことへの意欲を高める。地域への貢献と分教室の啓発。	(思・判・表) 基本的な技術を身につけ、手入れ・管理方法を理解している。 (主学) 島内の公共施設を清掃することにより、働くことへの意欲を高めようとしている。	・清掃活動 ・地域清掃活動	・各清掃場所の清掃手順確認と実践。 ・島内公共施設の清掃活動。(具志川改善センター、公立久米島病院、学校近くの海岸等)	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	11月	8	(思判表力) 実習の意義を理解し、目標を持って取り組む。実習評価から成果と課題を知り、今後の活動に生かす。	(主学) 実習の意義を理解し、目標を持って取り組んでいる。実習評価から成果と課題を知り、今後の活動に生かそうとしている。	・現場実習	・実習の意義、前回実習評価による課題の確認を踏まえた目標設定。課題解決の方法を検討し、今後の取り組みを確認。	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	12月	6	(思判表力) 2学期の成果と課題を整理する。	(思・判・表) 2学期の成果と課題が整理できている。	・2学期のまとめ	・成果と課題の確認。	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
3 学 期	1月	4	(思判表力) 3学期の活動予定を知る。目標をもって意欲的に取り組む。 (学・人) 挨拶や丁寧な言葉づかいをする。忘れ物をしない。服装のチェックをする。	(思・判・表) 3学期の活動予定を理解している。目標をもって意欲的に取り組んでいる。 (思・判・表) 挨拶や丁寧な言葉づかいができていいる。忘れ物をしないようにしている。	・オリエンテーション ・マナー・身だしなみ	・活動内容の確認。目標設定。 ・正しい姿勢や挨拶、言葉づかいの確認と練習。身だしなみや心構えの確認と実践。	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	2月	8	(思判表力) 役割を自覚し、責任を持って最後まで作業をする。 (学・人) 島内の公共施設を清掃することにより、働くことへの意欲を高める。地域への貢献と分教室の啓発。	(思・判・表) 役割を自覚し、責任を持って最後まで作業をしている。 (主学) 島内の公共施設を清掃することにより、働くことへの意欲を高めようとしている。	・清掃活動 ・地域清掃活動	各清掃場所の実践で、正確・丁寧かつ効率よくを意識させる。 島内公共施設の清掃活動。(具志川改善センター、公立久米島病院、学校近くの海岸等)	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	3月	4	(思判表力) 1年間の成果と課題を整理する。	(思・判・表) 1年間の成果と課題が整理できている。	・3学期のまとめ	成果と課題の確認。	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高1年 2名		家庭総合 (第一学習社)

年間目標		(知及技) 知識及び技能	活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会の特徴のよさ、それらの関わり気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。(生活・小3段階)				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。(生活・小3段階)				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。(生活・小3段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	6	(思判表力) 自分自身について客観的に知り、生涯を見通して人の一生について考え、それぞれのライフステージごとの特徴・課題を理解する。 (思判表力) 男女共同参画社会の実現をめざす歩みと社会的背景について理解し、どのような青年期を生きるかを考えることができるようにする。	(思・判・表) 自分自身について客観的に知り、生涯を見通して人の一生について考え、それぞれのライフステージごとの特徴・課題が理解できている。 (思・判・表) 男女共同参画社会の実現をめざす歩みと社会的背景について理解し、どのような青年期を生きるかを考えようとしている。	・自分らしく生きる 自分を見つめる 青年期を生きる	自分自身の性格について知る。 将来をイメージさせる。 ワークシート使用する。	国語、社会、理科、 体育、職業
	5月	7	(思判表力) さまざまな結婚、家族の意義や機能、現在の家族が抱える課題などを理解する。 (知及技) 家族に関する法律について学習し、理解する。	(思・判・表) さまざまな結婚、家族の意義や機能、現在の家族が抱える課題などを理解している。 (知・技) 家族に関する法律について学習し、理解している。	・家族と関わって生きる 家族って何だろう 家族と法律	視聴覚教材及びディベート等で結婚、家族、家庭に関する課題について学習を深める。様々なライフスタイルがあることを理解する。	国語、社会、理科、 体育、職業
	6月	7	(知及技) 保育や子どもの誕生のしくみがわかる。 (思判表力) 子どもの誕生、子どもの心身の発達と特徴、子どもの生活や遊びについて理解する。	(知・技) 保育や子どもの誕生のしくみを理解できている。 (思・判・表) 子どもの誕生、子どもの心身の発達と特徴、子どもの生活や遊びについて理解できている。	・子どもとかわって生きる 生命の誕生と子育て 子どもの生活を知る	妊婦疑似体験、沐浴、アタッチメントの形成、子どもの遊び・食生活についての理解を深めるため、絵本の読み聞かせやおやつを作る実習等を行う。	国語、理科、体育、 美術、職業
	7月	5	(思判表力) 現在の子どものとりまく環境を知り、子どもの発達と環境とのかかりについて理解する。家庭保育と集団保育、子育てのための国や地域の社会的支援について学ぶ。	(思・判・表) 現在の子どものとりまく環境を知り、子どもの発達と環境とのかかりについて理解している。家庭保育と集団保育、子育てのための国や地域の社会的支援について学ぶ。	すべての子どもがすこやかに	妊婦疑似体験、沐浴、アタッチメントの形成、子どもの遊び・食生活についての理解を深めるため、絵本の読み聞かせやおやつを作る実習等を行う。	国語、理科、体育、 美術、職業
	9月	7	(思判表力) 「家庭総合」を学ぶにあたって、学習の意義や内容、情報収集、レポートの書き方など学習の方法、評価の方法を理解する。 (知及技) 衣服の起源や歴史、風土に適した衣服などの学習を通して、衣服とは何か、衣服の機能や役割について理解する。	(思・判・表) 「家庭総合」を学ぶにあたって、学習の意義や内容、情報収集、レポートの書き方など学習の方法、評価の方法を理解している。 (知・技) 衣服の起源や歴史、風土に適した衣服などの学習を通して、衣服とは何か、衣服の機能や役割について理解している。	・家庭科を学ぶにあたって ・衣生活をつくる人 と衣服のかかわり	ノートやレポートを見ながら、評価方法を確認する。 手持ち衣料調査。	国語、数学、社会、 理科、体育、職業

2 学 期	10月	8	(思判表力) 流行やアパレル産業など、衣生活の現状や問題点を把握し、自分たちの衣生活と結びつけて学習する。	(思・判・表) 流行やアパレル産業など、衣生活の現状や問題点を把握し、自分たちの衣生活と結びつけて学習しようとしている。	私たちの衣生活	身近な衣類問題を題材に考えを深める。	国語、数学、社会、理科、体育、職業
	11月	7	(知及技) 衣服素材の種類、繊維の種類と特徴、衣服素材の性能について理解し、用途に応じた素材の選択ができるようにする。 (知及技) 衣服製作を通して、衣服の構成や基礎的な縫製技術を身につける。また、自己表現としての着装についても完成品を用いて学習する。	(知・技) 衣服素材の種類、繊維の種類と特徴、衣服素材の性能について理解し、用途に応じた素材の選択をしようとしている。 (知・技) 衣服製作を通して、衣服の構成や基礎的な縫製技術が身につけている。また、自己表現としての着装についても完成品を用いて学習しようとしている。	衣服は何からできているのか 衣服をつくろう	実物や具体例を見ながら繊維や素材について確認する。 手縫いやミシン作業を通し、なみ縫い、返し縫い、まつり縫いを実践する。エプロンを作成する。	国語、数学、社会、理科、体育、職業
	12月	5	衣服の購入・洗濯・保管などについて理解し、資源・環境にも配慮した衣生活やユニバーサルデザインについても学習する。(知及技)	衣服の購入・洗濯・保管などについて理解し、資源・環境にも配慮した衣生活やユニバーサルデザインについても学習しようとしている。(知・技)	よりよい衣生活を創造する	衣服の表示調査、界面活性剤実験。	国語、数学、社会、理科、体育、職業
3 学 期	1月	6	(思判表力) 高齢社会の現状と、将来の高齢社会の在り方を考える。 (思判表力) 高齢者の健康意識について知るとともに、元気に活躍する高齢者の社会参加について理解する。	(思・判・表) 高齢社会の現状と、将来の高齢社会の在り方を考えようとしている。 (思・判・表) 高齢者の健康意識について知るとともに、元気に活躍する高齢者の社会参加について理解しようとしている。	高齢社会をどう生きるか	高齢社会の現状や、高齢者の健康的な社会参加について調べる。	国語、数学、社会、体育、職業
	2月	7	(思判表力) 高齢者の生活費について知り、公的年金制度や経済的な支援について考える。 (思判表力) 介護保険制度のねらいや運用方法について理解し、今後の課題についても考える。 (思判表力) 高齢者の介助や自立を支援するための基本的な方法について理解する。	(思・判・表) 高齢者の生活費について知り、公的年金制度や経済的な支援について考えようとしている。 (思・判・表) 介護保険制度のねらいや運用方法について理解し、今後の課題についても考えようとしている。 (思・判・表) 高齢者の介助や自立を支援するための基本的な方法について理解している。	高齢者の生活と福祉	高齢者の生活費、年金制度や介護保険のしくみ、介助や自立支援についてプリントにまとめる。	国語、数学、社会、体育、職業
	3月	5	(学・人) 個人の生活設計と家族の生活設計を関連させ、調整しながら『自分らしいライフスタイル』を描くことができる。	(主学) 個人の生活設計と家族の生活設計を関連させ、調整しながら『自分らしいライフスタイル』を描こうとしている。	生活をデザインしよう	将来の生活設計について考え、『自分らしいライフスタイル』について話し合う。	国語、数学、社会、体育、職業
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1／35	高1年 2名		ワークシート

年間目標			(知及技) 知識及び技能	英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむ力を養う。(小学部段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりすることができる基礎的な力を養う。(小学部段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	外国の文化に触れながら、言語の関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(小学部段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	2	(学・人) 英語の基本的なあいさつと自己・他己紹介ができる	(主学) 英語の基本的なあいさつと自己・他己紹介をしようとしている。	・英語で挨拶、自己紹介と他己紹介	前年度の振り返り。 基本文を使って、友達と自己紹介をする。	国語・社会・家庭科・職業
	5月	4	(知及技) ローマ字の大文字と小文字を正しく書けたり、読めたりする。	(知・技) ローマ字の大文字と小文字を正しく読み書きしようとしている。	・アルファベットとローマ字	ワークシートを使って練習する。	職業
	6月	4	(思判表力) 自身の好きな物や欲しいものをI like～.やI want to～.を使って答えたり、相手に質問することができる	(思・判・表) 自身の好きな物や欲しいものをI like～.やI want to～.を使って答えたり、相手に質問しようとしている。	・好きな物や欲しいもの	ワークシートや例文を用いて練習する。 ペア学習を行い、実際の会話を練習する。	国語・音楽・美術・家庭科・職業・体育
	7月	2	(思判表力) 1学期に学んだ表現を使って簡単な会話や文章が書ける	(思・判・表) 1学期に学んだ表現を使って簡単な会話や文章を書こうとしている。	・英会話Ⅰ	これまで学習した語を用いて会話練習を行う。	国語・数学・社会・理科・音楽・美術・家庭科・職業・体育
2 学期	9月	4	(思判表力) 自分や友達の1日を答えることができる。	(思・判・表) 自分や友達の1日を答えようとしている。	・動作を表す表現	絵カードを使ってゲームをしたり、例文を提示し理解を促す。	国語・数学・社会・理科・音楽・美術・家庭科・職業・体育
	10月	4	(思判表力) I can ～.などを使って、動作を表す表現を答えることができる。	(思・判・表) I can ～.などを使って、動作を表す表現を答えようとしている。	・動作を表す表現	絵カードを使ってゲームをしたり、例文を提示し理解を促す。	国語・理科・美術・音楽・家庭科
	11月	4	(学) 外国の歌、名産、習慣などを知り、それぞれの良さや日本との違いに気付く。	(主学) 外国の歌、名産、習慣などを知り、それぞれの良さや日本との違いに気付いている。	・外国の文化	ALTの住んでいた国について紹介する。 日本でも聞き馴染みのある外国の歌や行事等の外国文化を視聴覚教示を用いて伝える。	国語・数学・社会・理科・音楽・美術・家庭科・職業・体育
	12月	3	(思判表力) (学・人) 2学期に学んだ表現を使って簡単な会話ができる	(思・判・表) (主学) 2学期に学んだ表現を使って簡単な会話をしようとしている。	・英会話Ⅱ	これまで学習した語を用いて会話練習を行う。	国語・数学・社会・理科・音楽・美術・家庭科・職業・体育

3 学 期	1 月	2	(知・技) 数の数え方、月日、曜日、天気、行事などを英語で表現できる	(知・技) 数の数え方、月日、曜日、天気、行事などを英語で表現しようとしている。	・数の応用 (1億まで)、曜日、月、四季の行事などの学習	ゲームを活用し、物を数えながら英語で数字を表現する	国語・数学・社会
	2 月	4	(学・人) 外国の歌、名産、習慣などを知り、それぞれの良さや日本との違いに気付く。	(主学) 外国の歌、名産、習慣などを知り、それぞれの良さや日本との違いに気付いている。	・外国の文化	ALTの住んでいた国について紹介する。 日本でも聞き馴染みのある外国の歌や行事等の外国文化を視聴覚教示を用いて伝える。	国語・理科・美術・音楽・家庭科
	3 月	2	(思判表力) (学・人) 3学期に学んだ表現を使って簡単な会話ができる	(思・判・表) (主学) 3学期に学んだ表現を使って簡単な会話をしようとしている。	・英会話Ⅲ	これまで学習した語を用いて会話練習を行う。	国語・音楽・美術・職業・体育
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・提出物の状況 ・実技テスト ・単元テスト ・小テスト					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1／35	高1年 2名		

年間目標		(知及技) 知識及び技能	集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。。				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだす。				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己実現を図ろうとする態度を養う。				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	2	(知及技) クラスに必要な掲示物などをつくり、学習環境を整えることができる	(知・技) 多様な他者と共同する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けようとしている。	・学級掲示物の作成	・必要な掲示物を作成する。個人目標や係を決めて、貼り出す。	国語、数学、美術
	5月	4	(学・人) 他者との関わりを通して、余暇活動を楽しむことができる	(思・判・表) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし解決するために話し合い合意形成を図ったり、意思決定したりしようとしている。	・新入生歓迎球技大会	・主体的に活動を企画し・運営する。	国語、数学、社会、音楽
	6月	4	(学・人) 生徒会活動を通して、学校生活を楽しみ積極的に関わることができる	(主学) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を身に付けようとしている。	・生徒会活動	・生徒会行事に参加し、協力学級と一緒に活動する。。	国語、数学、美術、社会、職業
	7月	2	(思判表力) 夏休みの予定を検討し、過ごし方を確認する		・夏休みの過ごし方 ・ゴミ拾いをしよう	・夏休みのスケジュールを作成する。パワーポイントで夏休みの過ごし方について確認。 ・学校近くの海岸のゴミ拾いを行う。	国語、数学、職業
2 学期	9月	4	(思判表力) 2学期の目標を立て、発表することができる		・2学期の目標	・2学期の目標を立て、掲示する。	国語、数学、職業
	10月	4	(知及技) 本に親しみ、読書意欲を高める		・読書活動	・図書室に行き、たくさんの本と触れ合う。	国語
	11月	4	(知及技) 正しい交通ルールとマナーを知る (知及技) 健康管理についての方法を知る		・交通安全 ・健康管理 ・ゴミ拾いをしよう	・講話による学習と振り返り。 ・飲酒、喫煙、薬物の被害と、健康への影響について。 ・学校近くのゴミ拾いを行う。	国語、数学、社会、音楽、英語 国語、数学、社会、体育
	12月	3	(思判表力) 静かに音楽を聴き、感じた事をワークシートにまとめることができる (思判表力) 冬休みの過ごし方を確認する		・音楽鑑賞会 ・冬休みの過ごし方	・地域のイベントへ参加する。 ・パワーポイントやワークシートを活用し、2学期の自己評価や冬休みの過ごし方について説明する。	国語、音楽 国語、数学、職業
3 学期	1月	2	(思判表力) 3学期の目標を立てることができる。		・新年を迎えて	・新鮮な気持ちで1年間の目標を作成する。	国語、数学、社会、音楽、職業
	2月	4	(学・人) 他者との関わりを通して、余暇活動を楽しむことができる		・送別球技大会 ・ゴミ拾いをしよう	・主体的に活動を企画し・運営する。 ・学校近くのゴミ拾いを行う。	国語、数学、社会、音楽

	3月	2	(学・人) 次の学年に向けての心構えを持つ。		・新学年度に向けて	・シートを活用し、自己評価する。	国語、数学、職業
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1／35	高1年 2名		

年間目標		(知及技) 知識及び技能	集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。。				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだす。				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己実現を図ろうとする態度を養う。				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	2	(知及技) クラスに必要な掲示物などをつくり、学習環境を整えることができる	(知・技) 多様な他者と共同する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けようとしている。	・学級掲示物の作成	・必要な掲示物を作成する。個人目標や係を決めて、貼り出す。	国語、数学、美術
	5月	4	(学・人) 他者との関わりを通して、余暇活動を楽しむことができる	(思・判・表) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし解決するために話し合い合意形成を図ったり、意思決定したりしようとしている。	・新入生歓迎球技大会	・主体的に活動を企画し・運営する。	国語、数学、社会、音楽
	6月	4	(学・人) 生徒会活動を通して、学校生活を楽しみ積極的に関わることができる	(主学) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を身に付けようとしている。	・生徒会活動	・生徒会行事に参加し、協力学級と一緒に活動する。。	国語、数学、美術、社会、職業
	7月	2	(思判表力) 夏休みの予定を検討し、過ごし方を確認する		・夏休みの過ごし方 ・ゴミ拾いをしよう	・夏休みのスケジュールを作成する。パワーポイントで夏休みの過ごし方について確認。 ・学校近くの海岸のゴミ拾いを行う。	国語、数学、職業
2 学期	9月	4	(思判表力) 2学期の目標を立て、発表することができる		・2学期の目標	・2学期の目標を立て、掲示する。	国語、数学、職業
	10月	4	(知及技) 本に親しみ、読書意欲を高める		・読書活動	・図書室に行き、たくさんの本と触れ合う。	国語
	11月	4	(知及技) 正しい交通ルールとマナーを知る (知及技) 健康管理についての方法を知る		・交通安全 ・健康管理 ・ゴミ拾いをしよう	・講話による学習と振り返り。 ・飲酒、喫煙、薬物の被害と、健康への影響について。 ・学校近くのゴミ拾いを行う。	国語、数学、社会、音楽、英語 国語、数学、社会、体育
	12月	3	(思判表力) 静かに音楽を聴き、感じた事をワークシートにまとめることができる (思判表力) 冬休みの過ごし方を確認する		・音楽鑑賞会 ・冬休みの過ごし方	・地域のイベントへ参加する。 ・パワーポイントやワークシートを活用し、2学期の自己評価や冬休みの過ごし方について説明する。	国語、音楽 国語、数学、職業
3 学期	1月	2	(思判表力) 3学期の目標を立てることができる。		・新年を迎えて	・新鮮な気持ちで1年間の目標を作成する。	国語、数学、社会、音楽、職業
	2月	4	(学・人) 他者との関わりを通して、余暇活動を楽しむことができる		・送別球技大会 ・ゴミ拾いをしよう	・主体的に活動を企画し・運営する。 ・学校近くのゴミ拾いを行う。	国語、数学、社会、音楽

	3月	2	(学・人) 次の学年に向けての心構えを持つ。		・新学年度に向けて	・シートを活用し、自己評価する。	国語、数学、職業
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高2年 2名		

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(高1段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高1段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高1段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	4	(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うことができる。	(知・技) 漢字の学習において、文を漢字を交えて書くことができる。	・漢字学習	・ワークシートを活用して、自分の漢字の読み書きの力を知る。	社会・理科・家庭科・職業
	5月	8	(思判表力) 物語などを読み、様々な日本語の表現を知り、親しむことができる	(思・判・表) 物語などを読み、様々な日本語の表現を知り、親しんでいる	・物語に親しむ	・時候や時期に合った作品を読み感想を発表する。	社会・理科・音楽・美術・家庭科
	6月	8	(思判表力) 自分が体験して感じたこと、考えたことを書くことができる。	(思・判・表) 自分が体験したことや感じたことを作文している	・お礼の手紙を書こう①	・現場実習でお世話になった事業所の方にお礼の手紙を書く。	社会・理科・家庭科・体育・職業
	7月	4	(学・人) 学期の学習を振り返り、2学期への課題を見出すことができる。	(主学) 学期の学習を振り返り、2学期への課題を見出している。	・学期のまとめ	・夏テスト等で学習の定着を確認し、次の目標を立てる。	国語、数学
2 学期	9月	8	(知及技) 日常生活で使用する「しまくとうば」に親しむことができる。	(知・技) 日常生活で聞いたことのある「しまくとうば」を通して、「しまくとうば」の現状を理解している。	・しまくとうば	・しまくとうばで書かれた紙芝居を読む。 ・「しまくとうば」とは何かを知る。	社会
	10月	8	(思判表力) 古文などを読んだり、かるた取りをしたりして様々な日本語の表現を知り、親しむことができる	(思・判・表) 古文などを読んだり、かるた取りをしたりして様々な日本語の表現を知り、親しんでいる	・古文に親しむ	・古文を読んだり、暗唱したりする。	社会・理科・音楽・美術・家庭科
	11月	8	(思判表力) 自分が体験したことや感じたことを作文できる。	(思・判・表) 自分が体験したことや感じたことを作文している	・お礼の手紙を書こう②	・現場実習でお世話になった事業所の方にお礼の手紙を書く。	社会・理科・家庭科・体育・職業
	12月	6	(知及技) 年賀状を書くことを通して、季節の節目に交わす挨拶状で用いる語句があることを知り、年賀状に書くことをできる。	(知・技) 年賀状に必要な言葉を知り、年賀状を書く。	・年賀状を書こう	・年賀状作成	国語、社会
3 学期	1月	4	(学・人) 毛筆で書くことを通して、今年の目標を考え校とする。	(主・学) 意欲的に書き初めを書こうとする。	・書き初めを書こう	・書き初めを書く。	社会・理科・家庭科・職業
	2月	8	(思判表力) 詩などを読んだり、作ったりして様々な日本語の表現を知り、親しむことができる	(思・判・表) 詩などを読んだり、作ったりして様々な日本語の表現を知り、親しんでいる	・文章に親しむ	・時候や時期に合った作品を読んだり、自分で作ったりする。	社会・理科・音楽・美術・家庭科

	3月	4	(思判表力)自分が体験したことや感じたことを作文できる	(思・判・表)自分が体験したことや感じたことを作文している	・年間で振り返ろう	・行事等に合わせて作文をし、発表をする。	社会・理科・家庭科・体育・職業
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高2年 2名		ワークシート

年間目標	(知及び技) 知識及び技能		地域や我が国の国土の地理的環境、歴史や伝統と文化及び外国の様子について、人々の生活との関連を踏まえて理解する。(中2段階)				
	(思判表力) 思考力、判断力、表現力等		我が国における県の様子や他地域との違いについて考え、表現する。(中2段階)				
	(学・人) 学びに向かう力、人間性		社会に自ら関わろうとする意欲を持ち、地域社会のなかで生活することの大切さについての自覚を養う。(中2段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	4	(知及技) 自分たちの地域の地理や歴史、特色を学習する。	(思・判・表) 久米島の地理歴史や特色を学び、関心を持つとしている。	・久米島について学ぼう	・自分たちが暮らしている久米島について理解を深め、どのような特色があるのかを学ぶ。	国語、数学、理科、体育、音楽、美術、英語、職業、家庭
	5月	8	(知及技) 歴史上の史跡を手掛かりに、沖縄諸島における先人の業績、優れた文化遺産や各島の特徴を学習する。	(知・技) 久米島の地理を手掛かりに、関連する先人の業績、優れた文化遺産や特色を学習しようとしている。	・沖縄諸島について学ぼう	・沖縄諸島の地理や史跡について、地域にどのような役割と功績があったのか調べる。	国語、理科、体育、美術、職業
	6月	8	(学・人) 慰霊の日を前に平和について考える。	(主学) 慰霊の日を前に平和について考えている。	・平和について	・沖縄戦、6月23日について、理解を深める。	国語、理科、体育、美術、職業
	7月	4	(思判表力) 学習の振り返り	(思・判・表) 学習の振り返りをしている	・学期のまとめ	・プリントなどで学習の振り返りをする。	国語、数学、理科、体育、音楽、美術、英語、職業、家庭
2 学期	9月	8	(思判表力) 北海道や東北地方の概要について知る。	(思・判・表) 都道府県の地理歴史や特色を学び、関心を持つとしている。	・都道府県を学ぼう (北海道・東北地方)	・自分たちが暮らしている地域とどのような違いがあるかについて理解を深め、iPad等で特色を調べる。	国語、数学、理科、職業、家庭
	10月	8	(知・技) 北陸・中部地方の概要について知る。	(思・判・表) 都道府県の地理歴史や特色を学び、関心を持つとしている。	・都道府県を学ぼう (北陸・中部地方)	・自分たちが暮らしている地域とどのような違いがあるかについて理解を深め、iPad等で特色を調べる。	国語、数学、理科、職業、家庭
	11月	8	(知・技) 関東地方の概要について知る。	(思・判・表) 都道府県の地理歴史や特色を学び、関心を持つとしている。	・都道府県を学ぼう (関東地方)	・自分たちが暮らしている地域とどのような違いがあるかについて理解を深め、iPad等で特色を調べる。	国語、数学、理科、職業、家庭

	12月	6	(知・技) 東海・近畿地方の概要について知る。	(思・判・表) 都道府県の地理歴史や特色を学び、関心を持とうとしている。	・都道府県を学ぼう(東海・近畿地方)	・自分たちが暮らしている地域とどのような違いがあるかについて理解を深め、iPad等で特色を調べる。	国語、数学、理科、職業、家庭
3学期	1月	4	(知・技) 中国・四国地方の概要について知る。	(思・判・表) 都道府県の地理歴史や特色を学び、関心を持とうとしている。	・都道府県を学ぼう(中国・四国地方)	・自分たちが暮らしている地域とどのような違いがあるかについて理解を深め、iPad等で特色を調べる。	国語、数学、理科、体育、音楽、美術、英語、職業、家庭
	2月	8	(知・技) 九州地方の概要について知る。	(思・判・表) 都道府県の地理歴史や特色を学び、関心を持とうとしている。	・都道府県を学ぼう(九州地方)	・自分たちが暮らしている地域とどのような違いがあるかについて理解を深め、iPad等で特色を調べる。	国語、数学、理科、体育、音楽、美術、英語、職業、家庭
	3月	4	(思判表力) 学習の振り返り	(思・判・表) 学習の振り返りをしている	・まとめ	・年間の学習を振り返る。	国語、数学、理科、体育、音楽、美術、英語、職業、家庭
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・提出物の状況 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・単元テスト ・小テスト ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高2年 2名		熱中算数教室 (アプリ)

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	数量や図形などの基礎的・基本的な概念や性質を理解し、日常生活に必要な数量の処理や計算をする。(高1段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	日常の事象を数理的に捉え、道筋を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を総合的・発展的に判断し、事象を数学的に表現する力を身につける。(高1段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	数学的活動の楽しさや数学の良さを実感し、数学を日常生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	4	(知及び技) 基礎的四則演算ができる	(知・技) 基礎的四則演算ができています	・四則演算	・基礎的な四則演算、繰り上がり、繰り下がり の加減法、2けたのか け算、わり算の計算	理科、社会、職業
	5月	8	(思判表力) 小数・分数の 意味や大小関係がわかる	(思・判・表) 小数・分数 の意味や大小関係がわかっ ている	・小数・分数の大きさ	・具体物を活用し、小 数・分数の大きさを視覚 的に表現する	国語、社会、家庭科
	6月	8	(知及び技) 小数同士の四則 計算ができる	(知・技) 小数同士の四則 演算ができています	・小数の四則計算	・プリント学習で反復 して学ぶ	国語、社会、家庭科
	7月	4	(知及び技) 分数同士の加減法 ができる	(知・技) 分数同士の加減法 ができています	・分数の加減法	・プリント学習で反復 して学ぶ	国語、社会、家庭科
2 学期	9月	8	(知及び技) メジャーやもの さしを利用して長さを測る ことや、長さの単位変換が できる	(知・技) メジャーやもの さしを利用して長さを測る ことや、長さの単位変換が できている	・長さの測定と単位変 換	・身のまわりの物の長 さを、メジャーやもの さしを利用して測定す る。具体物やめもりを 利用して視覚的に長さ の単位変換を学ぶ	社会、理科、家庭 科、職業
	10月	8	(知及び技) 長さの加減法が できる	(知・技) 長さの加減法が できている	・長さの加減法	・プリント学習で加 法・減法を反復して学 ぶ	社会、理科、家庭 科、職業
	11月	8	(思判表力) 時計を読むこ とができ、時間の計算問題 を解くことができる	(思・判・表) 時計を読む ことができ、時間の計算問 題を解くができている	・時間と時刻	・時計の針を活用しな がら、時間の何分前、 何分後、単位変換の学 習を行う	国語、社会、理科、 家庭科

	12月	6	(知及技) お金の数え上げや両替、買い物計算ができる	(知・技) お金の数え上げや両替、買い物計算ができている	・金銭処理	・具体物を使ったお金の数え上げ、両替練習、チラシを活用した模擬買い物練習を行う	国語、社会、理科、家庭科、職業
3学期	1月	4	(学・人) 生活する上で必要な費用がわかる。給料計算ができる	(主学) 生活する上で必要な費用がわかり、給料計算ができている	・家庭経済	・家賃や光熱費など生活に必要な費用をまとめる。求人票やプリントを活用した給料計算を行う	国語、社会、理科、家庭科、職業
	2月	8	(知及技) 電卓を利用した四則演算や割引、消費税込の計算ができる	(知・技) 電卓を利用した四則演算や割引、消費税込の計算ができている	・電卓	・電卓やipadの電卓機能を活用した、割引や消費税計算の実施。	社会、家庭科、職業
	3月	4	(思判表力) 各図形の名称や特徴がわかる (思判表力) 長方形の面積計算ができる	(思・判・表) 各図形の名称や特徴がわかっている (思・判・表) 長方形の面積計算ができている	・図形	・身のまわりの図形探しや、教育番組の視聴 ・マス目を数える面積計算や、公式を利用した面積計算	国語、社会、理科、美術、家庭科、職業
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・提出物の状況 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・単元テスト ・小テスト ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高2年 2名		インターネットの教材 (ワークシート)

年間目標		(知及び技) 知識及び技能	自然の事象・現象について基本的な理解を図り、人の体のつくりや働きを理解する。(高1段階)				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。(高1段階)				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	自然の仕組みや働きなどについて理解を深め、自然を大切にして学んだことを主体的に日常生活に生かす態度を育てる。(高1段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	4	(知及技) 自分の体のつくりや働きを知り、けがや病気の予防につなげる。	(知・技) 自分の体のつくりや働きを知り、けがや病気の予防につなげようとしている。	・健康な暮らし 人体とけが・病気の予防	・人の体の主なつくりや働きを知る。	国語、数学、社会、体育、音楽、美術、英語、職業、家庭
	5月	8	(知及技) 自分の体のつくりや働きを知り、けがや病気の予防につなげる。	(知・技) 自分の体のつくりや働きを知り、けがや病気の予防につなげようとしている。	人体とけが・病気の予防	・病気とその予防方法を知る。 ・けがとその処置について知る。	国語、数学、社会、体育、音楽、美術、英語、職業、家庭
	6月	8	(知及技) 健康に活動するために必要な栄養素を知ること、病気の予防につなげる。	(知・技) 健康に活動するために必要な栄養素を知ること、病気の予防につなげようとしている。	食事と健康	・心臓のはたらきを知る。 ・体循環と肺循環の仕組みを知る。 ・血液の成分とはたらきを知る。	国語、数学、社会、体育、音楽、美術、英語、職業、家庭
	7月	4	(知及技) 健康に活動するために必要な栄養素を知ること、病気の予防につなげる。	(知・技) 健康に活動するために必要な栄養素を知ること、病気の予防につなげようとしている。	食事と健康	・血液の成分とはたらきを知る。	国語、数学、社会、体育、音楽、美術、英語、職業、家庭
2 学期	9月	8	(知及技) 植物、動物、微生物について知る。	(知・技) 植物、動物、微生物について知っている。	・自然とくらし 生物	・植物について知る。 ・動物について知る。	国語、数学、社会、英語、職業、家庭
	10月	8	(知及技) 植物、動物、微生物について知る。	(知・技) 植物、動物、微生物について知っている。	生物	・微生物について知る。 ・生物と食物連鎖について知る。	国語、数学、社会、英語、職業、家庭
	11月	8	(思判表力) 地球の様子や天体のことを知り、地球の自然環境について考える。	(思・判・表) 地球の様子や天体のことを知り、地球の自然環境について考えようとしている。	地球と自然	・地球と天体について知る。 ・地球の環境について知る。 ・気象について知る。 ・自然災害について知る。	国語、数学、社会、英語、職業、家庭

	12月	6	(思判表力)地球の様子や天体のことを知り、地球の自然環境について考える。	(思・判・表)地球の様子や天体のことを知り、地球の自然環境について考えようとしている。	地球と自然	・気象について知る。 ・自然災害について知る。	国語、数学、社会、英語、職業、家庭
3 学 期	1月	4	(知及技)私たちの身の回りにあるさまざまな物質の特徴を知る。	(知・技)私たちの身の回りにあるさまざまな物質の特徴を知ろうとしている。	・便利なくらし物質	・プラスチック・金属・ガラスについて知る。 ・セメントの特徴を知る。 ・その他身の回りの物質を知る。	国語、数学、社会、英語、職業、家庭
	2月	8	(知及技)私たちの生活に欠かせないエネルギーの特徴や機械の安全性について知る。	(知・技)私たちの生活に欠かせないエネルギーの特徴や機械の安全性について知ろうとしている。	・エネルギー・機械	・電気・ガス・石油について知る。 ・機械について知る。	国語、数学、理科、体育、音楽、美術、英語、職業、家庭
	3月	4	(知及技)身の回りにある薬品や医薬品について知る。	(知・技)身の回りにある薬品や医薬品について知ろうとしている。	・薬品・医療品	・生活薬品について知る。 ・身の回りの医薬品について知る。	国語、数学、社会、英語、職業、家庭
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・提出物の状況 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・実技テスト ・単元テスト ・小テスト ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高2年 2名		

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	運動の楽しさや喜びを味わい、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身につける。(高1段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を養う。(高1段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し豊かな生活を営む態度を育てる。(高1段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学 期	4月	6	(知及技) 仲間と協力し、回数を数えたり記録を測定することができる。 (学・人) 自分の記録を知り、挑戦することができる。	(知・技) 仲間と協力し、回数を数えたり記録を測定している。 (主学) 自分の記録を知り、挑戦しようとしている。	・体づくり運動	・ペアになり、交互に体力テストを行う。 ・体力テストの結果を記入する	数学、国語、社会、体育
	5月	12	(思判表力) オリンピック、パラリンピックなどの世界大会について理解する。	(思・判・表) オリンピック、パラリンピックなどの世界大会について理解している。	・体育理論	・映像を見たり、講話を通して理解を深める	数学、国語、社会、体育
	6月	12	(知及技) ルールを理解し、仲間と協力して進んで運動に取り組む。 (知及技) 基本的な技術を学び、簡易化したルールの中で発揮することができる。	(知・技) ルールを理解し、仲間と協力して進んで運動に取り組んでいる。 (知・技) 基本的な技術を学び、簡易化したルールの中で発揮しようとしている。	・球技(選択) ハンドボール 卓球	・基本的なルールの説明を行い、部分練習を行う ・グループ学習を通して、チームや個人の課題を見つける	数学、国語、社会、体育
	7月	6	(学・人) 仲間と協力して、ボールを繋いだり得点を決めたりする。	(主学) 仲間と協力して、ボールを繋いだり得点を決めたりしようとしている。	・球技(選択) ソフトボール バレーボール		
Ⅱ 学 期	9月	12	(知及技) 武道の「所作」や「礼」などについて理解することができる。 (思判表力) 各競技、仲間と協力して曲に合わせて体を動かすことができる。	(知・技) 武道の「所作」や「礼」などについて理解しようとしている (思・判・表) 各競技、仲間と協力して曲に合わせて体を動かしている。	・武道・ダンス	・活動内容や「所作」や「礼」についての映像を見る ・部分練習を繰り返し行い、動きを覚える	数学、国語、体育
	10月	12	(知及技) 走り高跳びや、走り幅跳びの基本的なルールや跳び方を理解することができる。 (思判表力) 習った技や跳び方に挑戦することができる。	(知・技) 走り高跳びや、走り幅跳びの基本的なルールや跳び方を理解している。 (思・判・表) 習った技や跳び方に挑戦しようとしている。	・陸上競技	・手本を見ながら、実際に跳んでみる ・距離や高さを上げて挑戦する	数学、国語、体育
	11月	12	(知及技) 自分の体力を知ることができる。	(知・技) 自分の体力を把握している。	・体づくり運動	・第2回体力テストを行い、現状の体力を把握する	数学、国語、体育
	12月	9	(学・人) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができる。	(主学) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わおうとしている。	・球技(選択) バドミントン 卓球 ソフトボール バレーボール	・グループ学習を通して、チームにあった作戦を立てる	数学、国語、体育
Ⅲ 学 期	1月	6	(思・判・力) 自分の深めたい競技を選択することができる。	(思・判・表) 自分の深めたい競技を選択している。 (主学) 技術を高め、仲間同士で競技を楽しもうとしている。	(選択) 器械運動／陸上競技	・1年間でやった球技の中から選択し仲間と試合やラリーを行う ・仲間同士で話し合いをする時間を作り、競技に入る	数学、体育
	2月	12	(学・人) 技術を高め、仲間同士で競技を楽しむことができる。		(選択) 器械運動／陸上競技		

	3月	6		(選択) 器械運動／陸上競技		
留意点 引継等						
評価方法	・三観点の確認 ・提出物の状況 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・実技テスト ・単元テスト ・小テスト ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
4／140	高2年 2名		農業と環境 (実教出版)

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	農業に関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。(高1段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。(高1段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。(高1段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	8	(学・人) 科目「野菜」の評価や計画について理解させる。	(主学) 科目「野菜」の評価や計画について理解している。	・野菜を学ぶ	・科目「野菜」の概要	国語、数学、理科、社会、体育、家庭
	5月	16	(知及技) 果菜類栽培における苗作り、肥培管理の重要性を理解させる。 (思判表力) 課題を発見し解決する力を養う。	(知・技) 果菜類栽培における苗作り、肥培管理の重要性を理解している。 (思・判・表) 課題を発見し解決する力を獲得しようとしている。	・夏野菜の栽培	・播種、育苗、定植、肥培管理	国語、数学、理科、社会、体育、家庭
	6月	16	(知及技) 果菜類栽培における苗作り、肥培管理の重要性を理解させる。 (思判表力) 課題を発見し解決する力を養う。	(知・技) 果菜類栽培における苗作り、肥培管理の重要性を理解している。 (思・判・表) 課題を発見し解決する力を獲得しようとしている。	・夏野菜の栽培	・播種、育苗、定植、肥培管理	国語、数学、理科、社会、体育、家庭
	7月	8	(知及技) 果菜類栽培における苗作り、肥培管理の重要性を理解させる。 (思判表力) 課題を発見し解決する力を養う。	(知・技) 果菜類栽培における苗作り、肥培管理の重要性を理解している。 (思・判・表) 課題を発見し解決する力を獲得しようとしている。	・夏野菜の栽培	・播種、育苗、定植、肥培管理	国語、数学、理科、社会、体育、家庭
2 学期	9月	16	(知及技) ゴーヤーの成育段階に応じた栽培管理技術を理解させる。 (思判表力) 課題を発見し解決する力を養う。	(知・技) ゴーヤーの成育段階に応じた栽培管理技術を理解している。 (思・判・表) 課題を発見し解決する力を獲得しようとしている。	・ゴーヤーの栽培	・露地栽培と水耕栽培の比較調査・下葉取り、感温性	国語、数学、理科、社会、体育、家庭
	10月	16	(知及技) ゴーヤーの成育段階に応じた栽培管理技術を理解させる。 (思判表力) 課題を発見し解決する力を養う。	(知・技) ゴーヤーの成育段階に応じた栽培管理技術を理解している。 (思・判・表) 課題を発見し解決する力を獲得しようとしている。	・ゴーヤーの栽培	・露地栽培と水耕栽培の比較調査、下葉取り、感温性	国語、数学、理科、社会、体育、家庭
	11月	16	(知及技) 葉菜類の水耕栽培管理を理解させる。 (思判表力) 課題を発見し解決する力を養う。	(知及技) 葉菜類の水耕栽培管理を理解させる。 (思・判・表) 課題を発見し解決する力を獲得しようとしている。	・コマツナ栽培	・葉菜類の水耕栽培	国語、数学、理科、社会、体育、家庭
	12月	12	(知及技) 葉菜類の水耕栽培管理を理解させる。 (思判表力) 課題を発見し解決する力を養う。	(知・技) 葉菜類の水耕栽培管理を理解している。 (思・判・表) 課題を発見し解決する力を獲得しようとしている。	・コマツナ栽培	・葉菜類の水耕栽培	国語、数学、理科、社会、体育、家庭

3 学 期	1 月	8	(知及技)水耕栽培での育苗管理を理解させる。 (思判表力)課題を発見し解決する力を養う。	(知・技)水耕栽培での育苗管理を理解している。 (思・判・表)課題を発見し解決する力を獲得しようとしている。	・ミズナ・トマトの栽培	・播種、定植、土作り、マルチ、播種	国語、数学、理科、社会、体育、家庭
	2 月	16	(知及技)水耕栽培での育苗管理を理解させる。 (思判表力)課題を発見し解決する力を養う。	(知・技)水耕栽培での育苗管理を理解している。 (思・判・表)課題を発見し解決する力を獲得しようとしている。	・ミズナ・トマトの栽培	・播種、定植、土作り、マルチ、播種	国語、数学、理科、社会、体育、家庭
	3 月	8	(思判表力)記録学習の重要性への理解を深める。 (学・人)自ら学び、主体的に取り組む態度を養う。	(思・判・表)記録学習の重要性への理解を深めようとしている。 (主学)自ら学び、主体的に取り組もうとしている。	・学習のまとめ	・学習のまとめを行い、思い出に残っていることや感想などを発表させる	国語、数学、理科、社会、体育、家庭
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・提出物の状況 ・実技テスト ・単元テスト ・小テスト					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
3／105	高2年 2名		

			(知及び技) 知識及び技能	農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を身に付けるようにする。(高Ⅰ段階)			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	経営と管理についての理解を深め、企画力や管理能力などを身に付け、農業に関する課題を解決する力を養う。(高Ⅰ段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	職業人として必要な豊かな人間性を育み、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。(高Ⅰ段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	4	(思判表力) 農業の各分野の総合的な実習を通して、経営や管理における技術の役割と各技術の相互関係を体験的に理解させ、経営や管理の改善を図る実践的な能力と態度を育てること。 (学・人) 自分の分担に責任を持ち、協力学級の生徒と協力して活動することができる。	(思・判・表) 農業の各分野の総合的な実習を通して、経営や管理における技術の役割と各技術の相互関係を体験的に理解し、経営や管理の改善を図る実践的な能力と態度を獲得しようとしている (主学) 自分の分担に責任を持ち、協力学級の生徒と協力して活動している。	(Ⅰ) 農業の各分野に関する総合的な実習ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ (Ⅱ) 農業の産業現場実等における総合的な実習ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ	①科目「農業と環境」と「植物バイオ」の各分野に関連付けて学習をする。 ・実験で実際の、体験的な学習を通しての知識と技術の習得をする。	国語・数学・社会・理科・体育・音楽・体育・美術・英語 職業・家庭 (Ⅱ)については、地域の実態や学科の特色に応じて、扱わないことができること。
	5月	8	(知及技) 農業体験を通して、基本的な知識と技術を理解する。	(知・技) 農業体験を通して、基本的な知識と技術を理解している。	(Ⅰ) 農業の各分野に関する総合的な実習ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ (Ⅱ) 農業の産業現場実等における総合的な実習ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ	②農場管理や学校緑化の実習を行う。 ・作物栽培、家畜飼育などに関する技術を習得させる。	
	6月	8	(思判表力) 産業現場等における総合的な実習を通して、技術の実践的な役割と経営や管理の実際を体験的に理解させ、経営や管理の改善を図る実践的な能力と態度を育てること。	(思・判・表) 産業現場等における総合的な実習を通して、技術の実践的な役割と経営や管理の実際を体験的に理解し、経営や管理の改善を図る実践的な能力と態度を獲得しようとしている。 (主学) ①自分の分担に責任を持ち、協力学級の生徒と協力して活動している。 (知・技) ②農業体験を通して、基本的な知識と技術を理解している。	(Ⅰ) 農業の各分野に関する総合的な実習ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ (Ⅱ) 農業の産業現場実等における総合的な実習ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ	③学校行事「即売会」の企画・運営。 生産から流通までの農業経営や企画力、コミュニケーション能力を育てる。	
	7月	4	(学・人) ①自分の分担に責任を持ち、協力学級の生徒と協力して活動することができる。 (知及技) ②農業体験を通して、基本的な知識と技術を理解する。		(Ⅰ) 農業の各分野に関する総合的な実習ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ (Ⅱ) 農業の産業現場実等における総合的な実習ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ	①科目「農業と環境」と「植物バイオ」の各分野に関連付けて学習をする。 ・実習で実際の、体験的な学習を通しての知識と技術の習得をする。	
Ⅱ学期	9月	8			(Ⅰ) 農業の各分野に関する総合的な実習ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ (Ⅱ) 農業の産業現場実等における総合的な実習ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ	③地域との連携・交流を図る。 ・農業関連業の視察研修、保育園との交流会、各小中学校への草花配布をする。	
	10月	8			(Ⅰ) 農業の各分野に関する総合的な実習ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ (Ⅱ) 農業の産業現場実等における総合的な実習ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ	④生産から流通までの農業経営や企画力、コミュニケーション能力を育てる。	
	11月	8			(Ⅰ) 農業の各分野に関する総合的な実習ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ (Ⅱ) 農業の産業現場実等における総合的な実習ア、専門技術総合実習イ、経営管理総合実習イ		

	12月	6			(1) 農業の各分野に関する総合的な実習 ア、専門技術総合実習 イ、経営管理総合実習 (2) 農業の産業現場実等における総合的な実習 ア、専門技術総合実習 イ、経営管理総合実習	
3 学 期	1月	4			(1) 農業の各分野に関する総合的な実習 ア、専門技術総合実習 イ、経営管理総合実習 (2) 農業の産業現場実等における総合的な実習 ア、専門技術総合実習 イ、経営管理総合実習	
	2月	8			(1) 農業の各分野に関する総合的な実習 ア、専門技術総合実習 イ、経営管理総合実習 (2) 農業の産業現場実等における総合的な実習 ア、専門技術総合実習 イ、経営管理総合実習	
	3月	4			(1) 農業の各分野に関する総合的な実習 ア、専門技術総合実習 イ、経営管理総合実習 (2) 農業の産業現場実等における総合的な実習 ア、専門技術総合実習 イ、経営管理総合実習	
	留意点 引継等					
評価方法	・三観点の確認 ・提出物の状況 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・実技テスト ・単元テスト ・小テスト ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
4／140	高2年 2名		ワークシート

年間目標		(知及び技) 知識及び技能	働くことの意義を理解し、作業や実習に取り組み、働く喜びを味わう。(高1段階)				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	道具や機械の操作に慣れるとともに、材料や製品の扱い方を身につけ、安全や衛生に気をつけながら作業や実習をする。(高1段階)				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	職業生活に必要な健康管理や余暇の有効な過ごし方がわかり、それを実践しようとする。(高1段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	4	(知及技) 作業内容を知る。 (思判表力) 目標をもって意欲的に取り組む。 (思判表力) 挨拶や丁寧な言葉づかいをする。 (思判表力) 忘れ物をしない。服装のチェックをする。	(知・技) 作業内容を把握している。 (思・判・表) 目標をもって意欲的に取り組もうとしている。 (思・判・表) 挨拶や丁寧な言葉づかいをしている。 (思・判・表) 忘れ物をしないようにしている。	・オリエンテーション ・マナー、身だしなみ	・作業の意義の確認、目標設定 ・正しい姿勢や挨拶、言葉づかいの確認と練習 ・身だしなみや心構えの確認と実践	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	5月	8	(知及技) 基本的な資機材の使用方法を身につける。 (学・人) 実習の意義を理解し、目標を持って取り組む。実習評価から成果と課題を知り、今後の活動に生かす。	(知・技) 基本的な資機材の使用方法が身についている。 (主学) 実習の意義を理解し、目標を持って取り組んでいる。実習評価から成果と課題を知り、今後の活動に生かそうとしている。	・機材の使い方 ・現場実習	・清掃道具の扱い方と清掃実践 ・実習の意義、前回実習評価による課題の確認を踏まえた目標設定 ・課題解決の方法を検討し、今後の取り組みを確認	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	6月	8	(思判表力) 整理整頓で効率よく片付ける方法を知る。 (学・人) 島内の公共施設を清掃することにより、働くことへの意欲を高める。 (学・人) 地域への貢献と分教室の啓発。	(思・判・表) 整理整頓で効率よく片付ける方法を理解している。 (主学) 島内の公共施設を清掃することにより、働くことへの意欲を高めようとしている。 (主学) 地域へ貢献しようとしている。	・手入れ・保管方法 ・地域清掃活動	・安全な置き方や汚れの取り方の確認と実践 ・島内公共施設の清掃活動(具志川改善センター、公立久米島病院、学校近くの海岸等)	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	7月	4	(思判表力) Ⅰ学期の成果と課題を整理する。	(思・判・表) Ⅰ学期の成果と課題が整理できている。	・Ⅰ学期のまとめ	・成果と課題の確認。	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	9月	8	(思判表力) 2学期の活動予定を知る。目標をもって意欲的に取り組む。 (学・人) 挨拶や丁寧な言葉づかいをする。忘れ物をしない。服装のチェックをする。	(思・判・表) 2学期の活動予定を理解している。目標をもって意欲的に取り組んでいる。 (主学) 挨拶や丁寧な言葉づかいができている。忘れ物をしないようにしている。	・オリエンテーション ・マナー、身だしなみ	・活動内容の確認。目標設定 ・正しい姿勢や挨拶、言葉づかいの確認と練習。身だしなみや心構えの確認と実践	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭

2 学 期	10月	8	(知及技) 基本的な技術を身につけ、手入れ・管理方法を知る。 (学・人) 島内の公共施設を清掃することにより、働くことへの意欲を高める。地域への貢献と分教室の啓発。	(思・判・表) 基本的な技術を身につけ、手入れ・管理方法を理解している。 (主学) 島内の公共施設を清掃することにより、働くことへの意欲を高めようとしている。	・清掃活動 ・地域清掃活動	・各清掃場所の清掃手順確認と実践 ・島内公共施設の清掃活動(具志川改善センター、公立久米島病院、学校近くの海岸等)	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	11月	8	(学・人) 実習の意義を理解し、目標を持って取り組む。実習評価から成果と課題を知り、今後の活動に生かす。	(主学) 実習の意義を理解し、目標を持って取り組んでいる。実習評価から成果と課題を知り、今後の活動に生かそうとしている。	・現場実習	・実習の意義、前回実習評価による課題の確認を踏まえた目標設定 ・課題解決の方法を検討し、今後の取り組みを確認	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	12月	6	(思判表力) 2学期の成果と課題を整理する。	(思・判・表) 2学期の成果と課題が整理できている。	・2学期のまとめ	・成果と課題の確認	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
3 学 期	1月	4	(思判表力) 3学期の活動予定を知る。目標をもって意欲的に取り組む。 (学・人) 挨拶や丁寧な言葉づかいをする。忘れ物をしない。服装のチェックをする。	(思・判・表) 3学期の活動予定を理解している。目標をもって意欲的に取り組んでいる。 (主学) 挨拶や丁寧な言葉づかいができている。忘れ物をしないようにしている。	・オリエンテーション ・マナー、身だしなみ	・活動内容の確認、目標設定 ・正しい姿勢や挨拶、言葉づかいの確認と練習。身だしなみや心構えの確認と実践	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	2月	8	(思判表力) 役割を自覚し、責任を持って最後まで作業をする。 (学・人) 島内の公共施設を清掃することにより、働くことへの意欲を高める。地域への貢献と分教室の啓発。	(思・判・表) 役割を自覚し、責任を持って最後まで作業をしている。 (主学) 島内の公共施設を清掃することにより、働くことへの意欲を高めようとしている。	・清掃活動 ・地域清掃活動	・各清掃場所の実践で、正確・丁寧かつ効率よくを意識させる ・島内公共施設の清掃活動。(具志川改善センター、公立久米島病院、学校近くの海岸等)	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	3月	4	(思判表力) 1年間の成果と課題を整理する。	(思・判・表) 1年間の成果と課題が整理できている。	・3学期のまとめ	・成果と課題の確認	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・提出物の状況 ・授業(実技、実習を含む)に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高2年 2名		家庭総合 (第一学習社)

年間目標		(知及び技) 知識及び技能		生活の中で食事が果たす役割、家族の生活と住空間について理解する。(高1段階)			
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等		健康に良い食生活や安全で快適な住空間について考え、表現する。(高1段階)			
		(学・人) 学びに向かう力、人間性		家族や地域との関わりを考え、家族の一員としてよりよい生活の実践に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。(高1段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	4	(思判表力) 食生活の歴史や食文化から、食事の意義について理解する。 (思判表力) 食事調査を通して、各自の食生活の問題点について考える。 (知及び技) 栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的基本的な知識を習得する。	(思・判・表) 食生活の歴史や食文化から、食事の意義について理解しようとしている。 (思・判・表) 食事調査を通して、各自の食生活の問題点について考えようとしている。 (知・技) 栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的基本的な知識を習得している。	・食生活をつくる ・人と食物のかかわり ・栄養と食品のかかわり	・人と食のかかわりについてノートにまとめる ・資料集や栄養素表を見ながら、栄養素について考える	国語、数学、社会、理科、体育、職業
	5月	8	(思判表力) 食品衛生(食品の選択、食中毒、食品添加物)について理解する。 (知及び技) 調理に関しての基本的基礎的な技術を習得する	(思・判・表) 食品衛生(食品の選択、食中毒、食品添加物)について理解している。 (知・技) 調理に関しての基本的基礎的な技術を習得している。	・食品の選び方と安全	・調理実習1 (お菓子:マドレーヌ) ・野菜の切り方 ・調理実習2 (和食:魚の照り焼き・ほうれん草のお浸し・豆腐とわかめのすまし汁)	国語、数学、社会、理科、体育、職業
	6月	8	(思判表力) 栄養・食品の知識をもとに、食事摂取基準、食品群別摂取量等を理解し、バランスのとれた家族の食事計画(献立作成)を考える。 (知及び技) 食事マナーを理解する。	(思・判・表) 栄養・食品の知識をもとに、食事摂取基準、食品群別摂取量等を理解し、バランスのとれた家族の食事計画(献立作成)を考えようとしている。 (知・技) 食事マナーを理解している。	・食生活をデザインする	・調理実習3 (和食:魚の照り焼き・ほうれん草のお浸し・豆腐とわかめのすまし汁) ・調理実習4 (中華:麻婆豆腐・粟米湯)	国語、数学、社会、理科、体育、職業
	7月	4	(思判表力) 食品の自給率について理解する。 (思判表力) 環境を配慮した調理方法(エコクッキング)について考える。 (思判表力) インスタント食品等に含まれている糖分・塩分について理解する。	(思・判・表) 食品の自給率について理解している。 (思・判・表) 環境を配慮した調理方法(エコクッキング)について考えようとしている。 (思・判・表) インスタント食品等に含まれている糖分・塩分について理解している。	・これからの食生活を考える	・自分の生活と照らし合わせて、これからの食生活について話し合う	国語、数学、社会、理科、体育、職業
	9月	8	(思判表力) 家計の収支について理解できる。 (思判表力) 消費行動において、意思決定のプロセスについて理解する。	(思・判・表) 家計の収支について理解できている。 (思・判・表) 消費行動において、意思決定のプロセスについて理解している。	・消費行動を考える ・主体的な消費行動	・家計の収支計算、消費者の権利責任についてノートにまとめる	国語、数学、社会、理科、体育、職業

2 学 期	10月	8	(思判表力) 契約、多様な販売方法や支払方法、問題商法を学び、被害にあった場合の解決方法について理解する。 (思判表力) 消費者の権利と責任について理解し、消費において自主的に行動するための知識を深める。	(思・判・表) 契約、多様な販売方法や支払方法、問題商法を学び、被害にあった場合の解決方法について理解している。 (思・判・表) 消費者の権利と責任について理解し、消費において自主的に行動するための知識を深めようとしている。	・消費者の権利と責任	・消費者の権利と責任に関するDVD視聴、身近な問題商法について話し合う	国語、数学、社会、理科、体育、職業
	11月	8	(思判表力) 資源及び環境に配慮した生活スタイルについて考える。	(思・判・表) 資源及び環境に配慮した生活スタイルについて考えようとしている。	・資源、環境を考える	・環境問題を調べ、自分にできる環境に配慮した行動を考える	国語、数学、社会、理科、体育、職業
	12月	6	(学・人) 手順を守り、仲間と協力して調理ができる (思判表力) 栄養バランスを考えた献立の考案、調理ができる	(主学) 手順を守り、仲間と協力して調理をしようとしている (思・判・表) 栄養バランスを考えた献立の考案、調理をしようとしている。	・調理実習 洋食 お弁当	・調理実習5 (洋食：グラタン・グリーンサラダ) ・調理実習6 (自由献立：お弁当)	国語、数学、社会、理科、体育、職業
3 学 期	1月	4	(知及技) 住まいの機能や歴史について知り、住まいが気候風土や生活と密接に関わっていることを理解する。 (思判表力) 生活の機能に応じた住空間の構成を理解し、ライフステージやライフスタイルに応じた住生活の計画ができるようにする。	(知・技) 住まいの機能や歴史について知り、住まいが気候風土や生活と密接に関わっていることを理解している。 (思・判・表) 生活の機能に応じた住空間の構成を理解し、ライフステージやライフスタイルに応じた住生活の計画を立てようとしている。	・住生活をつくる ・人と住まいのかかわり	・人と住まいのかかわりについてノートにまとめる	国語、数学、社会、理科、職業
	2月	8	(知及技) 平面図について理解する。 (知及技) 快適な室内環境について理解する。 (思判表力) 家庭内事故や災害について学び、安全な住まいについて理解する。	(知・技) 平面図について理解している。 (知・技) 快適な室内環境について理解している。 (思・判・表) 家庭内事故や災害について学び、安全な住まいについて理解しようとしている。	・快適な住まいづくり 健康的で安全な住まい環境	・快適な住まいづくりに関するDVD視聴、住空間構成ワーク ・自分の生活と照らし合わせて、安全な住まいについて話し合う	国語、数学、社会、体育、職業
	3月	4	(知及技) 住環境について理解する。 (学・人) 住生活の現状や住宅政策を理解し、各自の課題を考える。	(知・技) 住環境について理解している。 (主学) 住生活の現状や住宅政策を理解し、各自の課題を考えようとしている。	・よりよい住生活を創造するために	・住環境についてノートにまとめる	国語、数学、社会、体育、職業
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・提出物の状況 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・実技テスト ・単元テスト ・小テスト ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1／35	高2年 2名		ワークシート

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	外国語の音声や文字、語彙、表現、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。(高1段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。(高1段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(高1段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価基準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	2	(学・人) 英語の基本的なあいさつと自己・他己紹介ができる	(主学) 英語の基本的なあいさつと自己・他己紹介をしようとしている。	・英語で挨拶、自己紹介と他己紹介	・前年度の振り返り。 ・基本文を使って、友達と自己紹介をする。	国語・社会・家庭科・職業
	5月	4	(知及び技) ローマ字の大文字と小文字を正しく書けたり、読めたりする。	(知・技) ローマ字の大文字と小文字を正しく読み書きしようとしている。	・アルファベットとローマ字	・ワークシートを使って練習する。	職業
	6月	4	(思判表力) 自身の好きな物や欲しいものをI like～.やI want to～.を使って答えたり、相手に質問することができ	(思・判・表) 自身の好きな物や欲しいものをI like～.やI want to～.を使って答えたり、相手に質問しようとしている。	・好きな物や欲しいもの	・ワークシートや例文を用いて練習する。 ・ペア学習を行い、実際の会話を練習する。	国語・音楽・美術・家庭科・職業・体育
	7月	2	(思判表力) Ⅰ学期に学んだ表現を使って簡単な会話や文章が書ける	(思・判・表) Ⅰ学期に学んだ表現を使って簡単な会話や文章を書こうとしている。	・英会話Ⅰ	・これまで学習した語を用いて会話練習を行う。	国語・数学・社会・理科・音楽・美術・家庭科・職業・体育
Ⅱ 学期	9月	4	(思判表力) 自分や友達の日を答えることができる。	(思・判・表) 自分や友達の日を答えようとしている。	・動作を表す表現	・絵カードを使ってゲームをしたり、例文を提示し理解を促す。	国語・数学・社会・理科・音楽・美術・家庭科・職業・体育
	10月	4	(思判表力) I can ～.などを使って、動作を表す表現を答えることができる。	(思・判・表) I can ～.などを使って、動作を表す表現を答えようとしている。	・動作を表す表現	・絵カードを使ってゲームをしたり、例文を提示し理解を促す。	国語・理科・美術・音楽・家庭科
	11月	4	(学・人) 外国の歌、名産、習慣などを知り、それぞれの良さや日本との違いに気付く。	(主学) 外国の歌、名産、習慣などを知り、それぞれの良さや日本との違いに気付いている。	・外国の文化	・ALTの住んでいた国について紹介する。 ・日本でも聞き馴染みのある外国の歌や行事等の外国文化を視聴覚教示を用いて伝える。	国語・数学・社会・理科・音楽・美術・家庭科・職業・体育
	12月	3	(思判表力) (学・人) Ⅱ学期に学んだ表現を使って簡単な会話ができる	(思・判・表) (主学) Ⅱ学期に学んだ表現を使って簡単な会話をしようとしている。	・英会話Ⅱ	・これまで学習した語を用いて会話練習を行う。	国語・数学・社会・理科・音楽・美術・家庭科・職業・体育

3 学 期	1 月	2	(知・技) 数の数え方、月日、曜日、天気、行事などを英語で表現できる	(知・技) 数の数え方、月日、曜日、天気、行事などを英語で表現しようとしている。	・数の応用 (1億まで)、曜日、月、四季の行事などの学習	・ゲームを活用し、物を数えながら英語で数字を表現する	国語・数学・社会
	2 月	4	(学・人) 外国の歌、名産、習慣などを知り、それぞれの良さや日本との違いに気付く。	(主学) 外国の歌、名産、習慣などを知り、それぞれの良さや日本との違いに気付いている。	・外国の文化	・ALTの住んでいた国について紹介する。 ・日本でも聞き馴染みのある外国の歌や行事等の外国文化を視聴覚教示を用いて伝える。	国語・理科・美術・音楽・家庭科
	3 月	2	(思判表力) (学・人) 3学期に学んだ表現を使って簡単な会話ができる	(思・判・表) (主学) 3学期に学んだ表現を使って簡単な会話をしようとしている。	・英会話Ⅲ	・これまで学習した語を用いて会話練習を行う。	国語・音楽・美術・職業・体育
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・提出物の状況 ・実技テスト ・単元テスト ・小テスト					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高2年 2名		ワークシート

年間目標		(知及び技) 知識及び技能	情報セキュリティ及び情報モラルについて知ることができる。(高Ⅰ段階)				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を考える。(高Ⅰ段階)				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	コンピュータ等の情報機器を利用した情報の収集、処理及び発信に関心をもつ。(高Ⅰ段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	4	(知及び技) 情報手段の発達や情報社会の進展で生活の変化を考える	(知・技) 情報手段の発達や情報社会の進展で生活の変化を考えようとしている。	・情報と私たちの生活(Ⅰ)	・コンピュータの発達と私たちの生活の変化について調べる。	国語・数学・社会・職業
	5月	8	(思判表力) ネチケットやメディアリテラシーを身につける	(思・判・表) ネチケットやメディアリテラシーを身につけようとしている。	・情報と私たちの生活(Ⅰ)	・関連動画を視聴し、生徒同士で議論する。	国語・数学・社会・職業
	6月	8	(知及び技) ワープロ検定取得を目指した学習に取り組むことができる	(知・技) ワープロ検定取得を目指した学習に取り組んでいる。	・コンピュータ実習	・ワープロ検定過去問を活用し合格を目標に取り組む。	国語・数学・社会・英語・職業
	7月	4	(学・人) Ⅰ学期の学習を振り返り、2学期への課題を見出すことができる。	(主学) Ⅰ学期の学習を振り返り、2学期への課題を見出そうとしている。	・Ⅰ学期のまとめ	・テスト等で学習の定着を確認し、次の目標を立てる。	国語・数学・社会・英語・職業
Ⅱ 学期	9月	8	(思判表力) 収集した情報をもとに課題となることを見つけ出し、解決の方法を探ることができる	(思・判・表) 収集した情報をもとに課題となることを見つけ出し、解決の方法を探ろうとしている。	・情報と私たちの生活(Ⅱ)	・インターネットやメディアなどの情報から関心のある問題について調べる。	国語・社会・理科・職業
	10月	8			・情報と私たちの生活(Ⅱ)	・より良い解決方法について調べ、話し合う。	
	11月	8	(知及び技) ワープロ検定取得を目指した学習に取り組むことができる	(知・技) ワープロ検定取得を目指した学習に取り組んでいる。	・コンピュータ実習	・ワープロ検定過去問を活用し合格を目標に取り組む。	国語・数学・社会・英語・職業
	12月	6	(学・人) Ⅱ学期の学習を振り返り、3学期への課題を見出すことができる。	(主学) Ⅱ学期の学習を振り返り、3学期への課題を見出そうとしている。	・Ⅱ学期のまとめ	・テスト等で学習の定着を確認し、次の目標を立てる。	国語、数学
Ⅲ 学期	1月	4	(思判表力) 集めた情報を整理し、わかりやすく提示することができる	(思・判・表) 集めた情報を整理し、わかりやすく提示しようとしている。	・情報と私たちの生活(Ⅲ)	・プレゼンテーションソフトを活用して自分の考えをわかりやすく伝え合う。	国語・社会・理科・職業
	2月	8	(知及び技) ワープロ検定取得を目指した学習に取り組むことができる	(知・技) ワープロ検定取得を目指した学習に取り組んでいる。	・コンピュータ実習	・ワープロ検定過去問を活用し合格を目標に取り組む。	国語・数学・社会・英語・職業
	3月	4	(学・人) Ⅲ年間の学習を振り返り、次の学年への課題を見出すことができる。	(主学) Ⅲ年間の学習を振り返り、次の学年への課題を見出そうとしている。	・Ⅲ年間のまとめ	・テスト等で学習の定着を確認し、次の目標を立てる。	国語、数学
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1／35	高2年 2名		ワークシート

年間目標			自分自身に関すること	望ましい生活習慣を身に付け、節度と節制に努め、調和のある生活をしようとする態度を育てる。		
			人との関わりに関すること	温かな人間愛に基づいた、他の人への感謝の心と思いやりの心を養う。		
			集団や社会との関わりに関すること	集団の意義について理解し、役割と責任を自覚し、集団生活の向上に努めようとする意欲を高める。		
			生命や自然、崇高な物との関わりに関すること	地域社会の文化伝承に誇りをもち、国際社会の平和と進歩に貢献し、よりよい未来を拓く日本人の育成に努める。		
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1学期	4月	2	(思判表力) (学・人) 相手の立場に立って考え、人の手助けができるような言動をとることができる。	・「思いやり・友情」とは	想像力を働かせ、相手が喜ぶと思う言葉かけや行動について考える。	国語・数学・社会・理科・家庭科・職業
	5月	4	(思判表力) (学・人) ルールとは何かを考えながら、社会にどのようなルールがあるかを見つけることができる。	・「ルールを守る」とは	「ルールを守らなかったらどうなる」ことについて意見を述べあいながらルールの意味を考える。	国語・数学・社会・理科・家庭科・職業
	6月	4	(思判表力) (学・人) 自分の長所や特性がわかり、自己肯定感を高めながら向上することができる。	・「自分の個性」とは	できるだけ多く「好きなこと」「やりたいこと」を述べあい、自分自身の志向について考える。	国語・数学・社会・理科・家庭科・職業
	7月	2	(知及技) (思判表力) 自分の意志に従って、やるやらないをしっかりとることができる。	・「権利」とは	「自由」と「義務」「責任」についても話し合い、自分が望む権利について考える。	国語・数学・社会・理科・家庭科・職業
2学期	9月	4	(思判表力) (学・人) 心身の健康を保つために自分自身をコントロールする基準を見つけることができる。	・「節度を守る」とは	「～しすぎではよくない」ことについて意見を述べあいながら「節度を守る」ことの意味を考える。	国語・数学・社会・理科・家庭科・職業
	10月	4	(知及技) (学・人) 礼儀の意義を理解し、時と場合に応じた適切な言動をとることができる。	・「TPO」とは	さまざまな公的な場において、どのような言動をとるべきかを考えを述べあう。	国語・数学・社会・理科・家庭科・職業
	11月	4	(思判表力) (学・人) 自分の考えや意見を相手に伝えるときにも、相手の個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解しながらお互いに向上しあうことができる。	・「相互理解」とは	自分の考えや意見をわかりやすく相手に伝えるときにも、自分と違う考えを持っている相手の意見も寛容に学ぶ話し合いをする。	国語・数学・社会・理科・家庭科・職業
	12月	3	(知及技) (学・人) 働くことの意義を理解し、勤労を通じて社会に貢献しようと思えることができる。	・「労働・社会貢献」とは	自分が知っている職業や目指している職業がどのような形で社会に貢献しているか調べて発表しあい、労働と社会貢献について考える。	国語・数学・社会・理科・家庭科・職業
	1月	2	(学・人) 自分自身の育ってきた環境を肯定的に受け止めつつ、よりよい家庭生活を築こうと考えることができる。	・「家庭」とは	家庭に関するいろいろな意見を尊重し、既成の家族像や慣習にとらわれないパートナーシップや安らぎを感じる家庭について考える。	国語・数学・社会・理科・家庭科・職業

3 学 期	2 月	4	(知及技) (思判表力) (学・人) すべての生命を育む自然環境を尊重し、愛護につとめようと考えることができる。	・「自然」とは	自然の尊さ、美しさ、はかなさ、おそろしさについて考えを深める。	国語・数学・社会・理科・家庭科・職業
	3 月	2	1 年間の話し合いを振り返り、自分自身の成長を見出すことができる。(学・人)	・1 年間のまとめ	1 年間話し合ったことを思い出し、これからの自分の生き方を考える	国語・数学・社会・理科・家庭科・職業
留意点 引継等						
評価方法		・三観点の確認 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・提出物の状況				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1／35	高2年 2名		

			(知及び技) 知識及び技能	集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合いをする。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、生活及び人間関係をより良くしようとした、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	2	(知及技) クラスに必要な掲示物などをつくり、学習環境を整えることができる	(知・技) 多様な他者と共同する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けようとしている。 (思・判・表) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし解決するために話し合い合意形成を図ったり、意思決定したりしようとしている。 (主学) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を身に付けようとしている。	・学級掲示物の作成	・必要な掲示物を作成する。個人目標や係を決めて、貼り出す。	国語、数学、美術
	5月	4	(学・人) 他者との関わりを通して、余暇活動を楽しむことができる		・新入生歓迎球技大会	・主体的に活動を企画し・運営する。	国語、数学、社会、音楽
	6月	4	(学・人) 生徒会活動を通して、学校生活を楽しみ積極的に関わることができる		・生徒会活動	・生徒会行事に参加し、協力学級と一緒に活動する。	国語、数学、美術、社会、職業
	7月	2	(思判表力) 夏休みの予定を検討し、過ごし方を確認する		・夏休みの過ごし方 ・ゴミ拾いをしよう	・夏休みのスケジュールを作成する。パワーポイントで夏休みの過ごし方について確認。 ・学校近くの海岸のゴミ拾いを行う。	国語、数学、職業
2 学期	9月	4	(思判表力) 2学期の目標を立て、発表することができる		・2学期の目標	・2学期の目標を立て、掲示する。	国語、数学、職業
	10月	4	(知及技) 本に親しみ、読書意欲を高める		・読書活動	・図書室に行き、たくさん本と触れ合う。	国語
	11月	4	(知及技) 正しい交通ルールとマナーを知る (知及技) 健康管理についての方法を知る		・交通安全 ・健康管理 ・ゴミ拾いをしよう	・講話による学習と振り返り。 ・飲酒、喫煙、薬物の被害と、健康への影響について。 ・学校近くのゴミ拾いを行う。	国語、数学、社会、音楽、英語 国語、数学、社会、体育
	12月	3	(思判表力) 静かに音楽を聴き、感じた事をワークシートにまとめることができる (思判表力) 冬休みの過ごし方を確認する		・音楽鑑賞会 ・冬休みの過ごし方	・地域のイベントへ参加する。 ・パワーポイントやワークシートを活用し、2学期の自己評価や冬休みの過ごし方について説明する。	国語、音楽 国語、数学、職業
3 学期	1月	2	(思判表力) 3学期の目標を立てることができる。		・新年を迎えて	・新鮮な気持ちで1年間の目標を作成する。	国語、数学、社会、音楽、職業
	2月	4	(学・人) 他者との関わりを通して、余暇活動を楽しむことができる		・送別球技大会 ・ゴミ拾いをしよう	・主体的に活動を企画し、運営する。 ・学校近くの海外のゴミ拾いを行う。	国語、数学、社会、音楽
	3月	2	(学・人) 次の学年に向けての心構えを持つ。		・新学年度に向けて	・シートを活用し、自己評価する。	国語、数学、職業
留意点 引継等							
評価方法			・三観点の確認 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1／35	高2年 2名		

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	探求の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求の意義や価値を理解するようにする。			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	探求に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	2	(知及技) 1年間の学習内容に見通しを持つ (知及技) 講師の話をしっかり聞くことができる	(知・技) 探求の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求の意義や価値を理解しようとしている。	・オリエンテーション ・マナー講座	・資料を読み、教師の説明を聞いて年間の活動計画を知る。 ・講師からビジネスマナーについて学ぶ。	国語、数学 国語、数学、社会、職業
	5月	4	(知及技) 久米島の自然・歴史・文化について学ぶ	(思・判・表) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現しようとしている。	・ウォークラリー ・実習に向けて	・徒歩で回りながら、チェックポイントでスタンプを集めながら久米島の地理を知る。	国語、数学、社会、英語
	6月	4	(思判表力) 実習をふり返り、自分の良かった点や反省点をまとめることができる (思判表力) 平和について調べることで、平和を大切にする姿勢を育む (思判表力) 具体的な進路目標を持ち、進路を自己決定できる	(主学) 探求に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付けようとしている。	・実習振り返り ・平和学習	・インターネットや本を利用した調べ学習や、関連DVDを視聴して学ぶ。平和について考え発表する場を設定し、お互いの考えを共有して理解を深める。 ・進路担当や保護者と連携して、進路決定をサポートする。	国語、数学、社会、英語 国語、数学、社会、職業
	7月	2	(思判表力) 自分の長所短所に気づき、自己理解を深める		・自己理解と自己肯定感について	・ワークシート記入やパワーポイント作成を行う。 ・実習評価等を活用し、自分の得意不得意を分析する。	国語、数学、職業 国語、美術
2 学期	9月	4	(知及技) 進路について知見を広げることができる (学・人) みんなで協力し、行事を盛り上げやり遂げる		・進路講演会 ・久米高体育祭に向けて	・生徒の実態に合った講演会を精選し、参加させる。 ・久米島高校生徒と共に企画・準備・運営に参加する。	国語、数学、社会、職業 国語、数学、職業、音楽、家庭科
	10月	4	(知及技) 地域行事の一つである久米島マラソンを知る機会にする (知及技) 宿泊学習の内容と特体連について知る		・久米島マラソン ・特体連に向けて	・宿泊学習と特体連の事前・事後学習。 ・宿泊学習と特体連の事前・事後学習。	国語、数学、社会、体育 国語、数学、職業、体育
	11月	4	(思判表力) 具体的な進路目標を持ち、進路を自己決定できる (思判表力) 実習をふり返り、自分の良かった点や反省点をまとめることができる		・実習に向けて ・実習振り返り	・進路担当や保護者と連携して、進路決定をサポートする。 ・ワークシート記入やパワーポイント作成を行う。	国語、数学、社会、職業 国語、数学、職業

	12月	3	(学・人) 自分の長所短所に気づき、自己理解を深める	・自己理解と自己肯定感について	・生徒同士で褒め合い活動を行う。	国語
3 学 期	1月	2	(知及技) 宿泊学習の内容と特体連駅伝について知る	・特体連駅伝に向けて	・宿泊学習と特体連駅伝の事前・事後学習。	国語、数学、職業、体育
	2月	4	(知及技) 講演者の話を静かに聞くことができる	・進路講演会	・進路に関する新たな情報を学ぶ。	国語、数学、社会、職業
	3月	2	(思判表力) 進路決定を意識した計画ができる	・最終学年に向けて	・実生活での具体的な行動について学ぶ。	国語、数学、職業
留意点 引継等						
評価方法		・三観点の確認 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度				